

令和7年6月16日
茨城県潮来保健所

令和6年度医師派遣要望の結果について

令和7年3月26日開催の令和6年度第5回茨城県地域医療対策協議会において令和6年度医師派遣要望の結果が報告されました。

今年度の鹿行保健医療圏からの要望に対する医師の派遣はありませんでした。

なお、要請外の派遣として筑波大学より、下記のとおり2.5人の医師派遣となりましたので、取り急ぎご報告させていただきます。

記

1 要望

医療機関	診療科	要望数	結果
白十字総合病院	消化器内科	1人	0人
	総合診療科	1人	0人
神栖済生会病院	呼吸器内科	1人	0人
	腎臓内科	1人	0人
高須病院	救急科	1人	0人
計		5人	0人

2 医師派遣要請以外の医師配置

医療機関	診療科	結果	派遣元
小山記念病院	脳神経外科	0.5人	筑波大学
神栖済生会病院	総合診療科	2.0人	筑波大学

病床数適正化支援事業について

令和 7 年 6 月
茨城県医療政策課

病床数適正化支援事業について

事業の概要

- 令和6年度国補正予算（2024年12月17日成立）にて措置された、医療機関向けの緊急支援パッケージの一つ
- **医療需要の急激な変化を受けて病床数の適正化を進める医療機関は、職員体制の変更等による職員の雇用等の様々な課題に対して負担が生じるため、経営状況が厳しい医療機関に対して入院医療を継続してもらうこと**を目的に緊急的に支援を行う（国の補助金を100%原資とした国補事業）

▼支給要件

- ・ **令和6年12月17日から令和7年9月30日までの間に病床（一般・療養・精神）を削減すること**
- ・ **入院医療を継続すること**
※閉院や無床診療所に移行する場合、削減後残った病床が休床の場合など、**入院医療の継続という目的に合致しない場合は対象外**

▼支給単価

- ・ **1床あたり4,104千円**

第1次内示

- **下記①～③の基準に基づき、各都道府県に配分（本県は**全国5番目に多い260床分（約10.7億円）**の内示）**

意向調査（3月）		第1次内示（4月）	
病床数	金額（千円）	病床数	金額（千円）
1,009	3,951,468	260	1,067,040

県から医療機関に対する配分においても、下記①～③に基づいて行う必要

▼第1次内示において国から示された基準

- ① 一般会計の繰入等がない医療機関であって、**令和4年度から3年連続経常赤字**又は**令和5年度から2年連続経常赤字かつ令和6年度に病床削減済み**の医療機関
- ② **給付額の上限は、①の赤字額の平均の半分（目安）**
- ③ **一医療機関あたりの給付は50床が上限**

病床数適正化支援事業について

本県の対応

- 国が示す基準①～③に基づき第1次内示分の算定を行い、各医療機関へ通知
- 国においては、緊急支援パッケージの他の事業で生じた残余を活用して、**6月中旬を目途に第2次内示**を行うことを検討しており、事業規模は更に拡大する見込み（**ただし、第2次内示の規模や配分方法は不明**）

地域医療構想調整会議に対しあらかじめ削減数や削減の時期を報告し、今後の入院医療の提供に係る方針を共有

スケジュール（想定）

時期	国	県	医療機関
4月	・第1次内示	・第1次内示に基づき配分調整	
5月		・ 医療機関に対し改めて意向調査を実施	・ 意向調査に回答
6月	・第2次内示	・ 第2次内示に基づき配分調整	・ 調整会議へ削減数・今後の方向性を報告
7～9月		・ 調整会議の結果を踏まえ、配分額を確定	・ 病床削減を実施（9/30まで）
10月以降	・交付決定	・（予算成立後）国へ交付申請 ・（予算成立後）医療機関へ給付金を支給	・（予算成立後）実績ベースで県へ交付申請

＜病床数適正化支援事業 医療機関一覧（鹿行保健医療圏）＞										(令和7年5月調査より)
No	医療機関	二次保健医療圏	病床種別	削減数						削減時期
					高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	
1	鹿島病院	鹿行	精神病床	44	—	—	—	—	44	令和7年9月30日
合計				44	0	0	0	0	44	—

(共同利用計画申請鑑)

令和 7 年 4 月 9 日

茨城県潮来保健所長 殿

(開設者が法人の場合は法人名称及び主たる事務所の所在地・代表者名を記載)

医療機関開設者 住 所 茨城県潮来市島須 733

氏 名 大城 恬瑩

下記のとおり共同利用の対象となる医療機器を購入したいので、提出します。

< 共同利用の対象とする医療機器 >

- (1) C T (全てのマルチスライス C T 及びマルチスライス C T 以外の C T)
- (2) M R I (1.5 テスラ未満, 1.5 テスラ以上 3.0 テスラ未満及び 3.0 テスラ以上の M R I)
- (3) P E T (P E T 及び P E T - C T)
- (4) 放射線治療 (リニアック及びガンマナイフ)
- (5) マンモグラフィ

No.	新規/ 更新※ ¹	購入予定の医療機器	共同利用の予定※ ^{2,3} (該当するものに○)	共同利用を行わない 場合の理由※ ⁴
		種類またはグレード		
1	新規	CT	行う・行わない	
		Aquilion Prime SP SPREAD		
2	新規	MRI	行う・行わない	
		Vantage Elan		
			行う・行わない	

※¹ 「新規：新たな対象機器の購入(追加購入の場合を含む)」、「更新：既存の医療機器を買い替える場合」として記載してください。

※² 共同利用については、「画像診断が必要な患者を、医療機器を有する医療機関に対して患者情報とともに紹介する場合」を含みます。

※³ 共同利用を行う場合は、医療機器の共同利用に係る計画(別添様式)を、購入する機器ごとに提出してください。

※⁴ 共同利用を行わない場合、その理由について地域医療構想調整会議にて確認するので、御記入ください。



(別添様式)

令和 7 年 4 月 9 日

医療機器の共同利用に係る計画

1 共同利用を行う医療機 関名	潮来ハートクリニック		
開設者名	大城 恬瑩		
所在地	茨城県潮来市島須 7 3 3 番地		
連絡先	N T T と調整中		0299-77-5726
2 共同利用を行う医療機 器名	Aquilion Prime SP SPREAD		
3 共同利用の相手方とな る医療機関名	当院に対して共同利用の申し出があった医療機関		
開設者名			
所在地			
4 共同利用の開始時期	2 0 2 5 年 5 月 2 6 日		
5 保守、整備等の実施に 関する方針	保守点検計画に沿って、始業・終業点検、定期保守点検 を実施し、保守点検記録に残す。		
6 画像情報及び画像診断 情報の提供に関する方針 (画像撮影等検査機器の 場合)	画像情報提供および画像診断情報の提供方法に関して は、デジタルデータ(CD 又は DVD 等)にて提供を行う。 画像診断情報(読影)は希望のある施設のみ行う。		
7 備考	ホームページ上および地域医療連携担当者の施設訪問を 通して、利用の促進を図る。		

※ 医療機器の共同利用に係る計画は、共同利用の対象となる医療機器ごとに作成すること。

※ 「3 共同利用の相手方となる医療機関名」について、共同利用の相手方となる医療機関が決まっていない場合は、「当院に対して共同利用の申し出があった医療機関」などと記載し、「7 備考」に自院において、共同利用の相手方となる医療機関を確保するための取組を記載すること。

(別添様式)

令和 7 年 4 月 9 日

医療機器の共同利用に係る計画

1 共同利用を行う医療機関名	潮来ハートクリニック		
開設者名	大城 恬瑩		
所在地	茨城県潮来市島須 7 3 3 番地		
連絡先	N T T と調整中		0299-77-5726
2 共同利用を行う医療機器名	Vantage Elan		
3 共同利用の相手方となる医療機関名	当院に対して共同利用の申し出があった医療機関		
開設者名			
所在地			
4 共同利用の開始時期	2 0 2 5 年 5 月 2 6 日		
5 保守、整備等の実施に関する方針	保守点検計画に沿って、始業・終業点検、定期保守点検を実施し、保守点検記録に残す。		
6 画像情報及び画像診断情報の提供に関する方針 (画像撮影等検査機器の場合)	画像情報提供および画像診断情報の提供方法に関しては、デジタルデータ(CD 又は DVD 等)にて提供を行う。 画像診断情報(読影)は希望のある施設のみ行う。		
7 備考	ホームページ上および地域医療連携担当者の施設訪問を通して、利用の促進を図る。		

※ 医療機器の共同利用に係る計画は、共同利用の対象となる医療機器ごとに作成すること。

※ 「3 共同利用の相手方となる医療機関名」について、共同利用の相手方となる医療機関が決まっていない場合は、「当院に対して共同利用の申し出があった医療機関」などと記載し、「7 備考」に自院において、共同利用の相手方となる医療機関を確保するための取組を記載すること。

医療法人玉心会 鹿嶋ハートクリニック 病院化後の現状報告

医療法人 玉心会 理事長
黄 恬瑩

鹿嶋ハートクリニック

ア) 医師数 10名 (2025年4月現在)

イ) 看護師数 39名 (2025年4月実績) ※2024年より9名増員

ウ) 1日平均外来患者数 149.8名 (2024年4月実績)

エ) 病床稼働率 97.2% (2025年4月実績) ※19床換算では117.7%

オ) 平均在院日数 5.06日 (2024年4月実績)

カ) ハイケアユニット利用率 100.8% (2025年4月実績)

キ) 救急車受入台数 29台 (2025年4月実績) ※ 前年同月比131.8%

ク) 紹介率 38.0% (2025年4月実績)

第1手術室および第2手術室



HCU

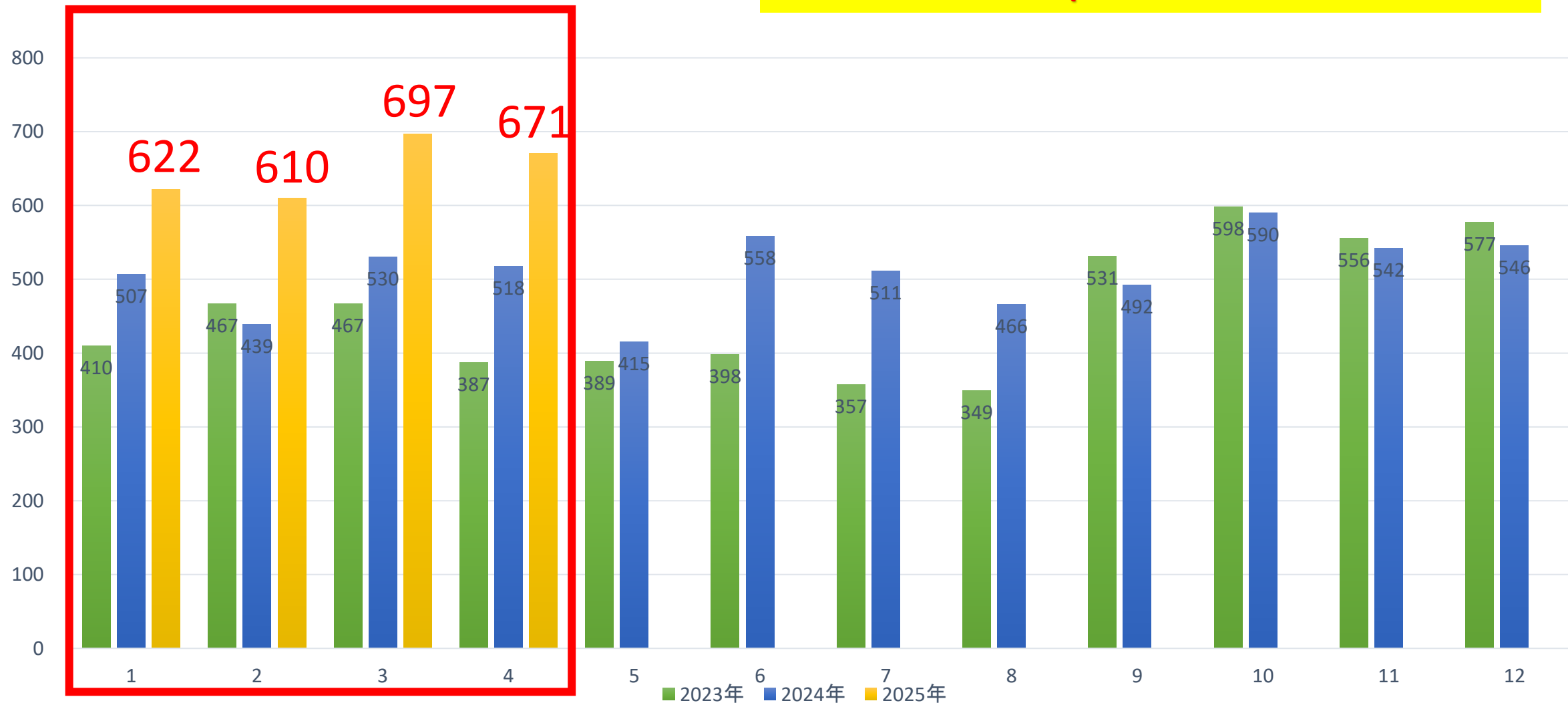


救急外来および外観



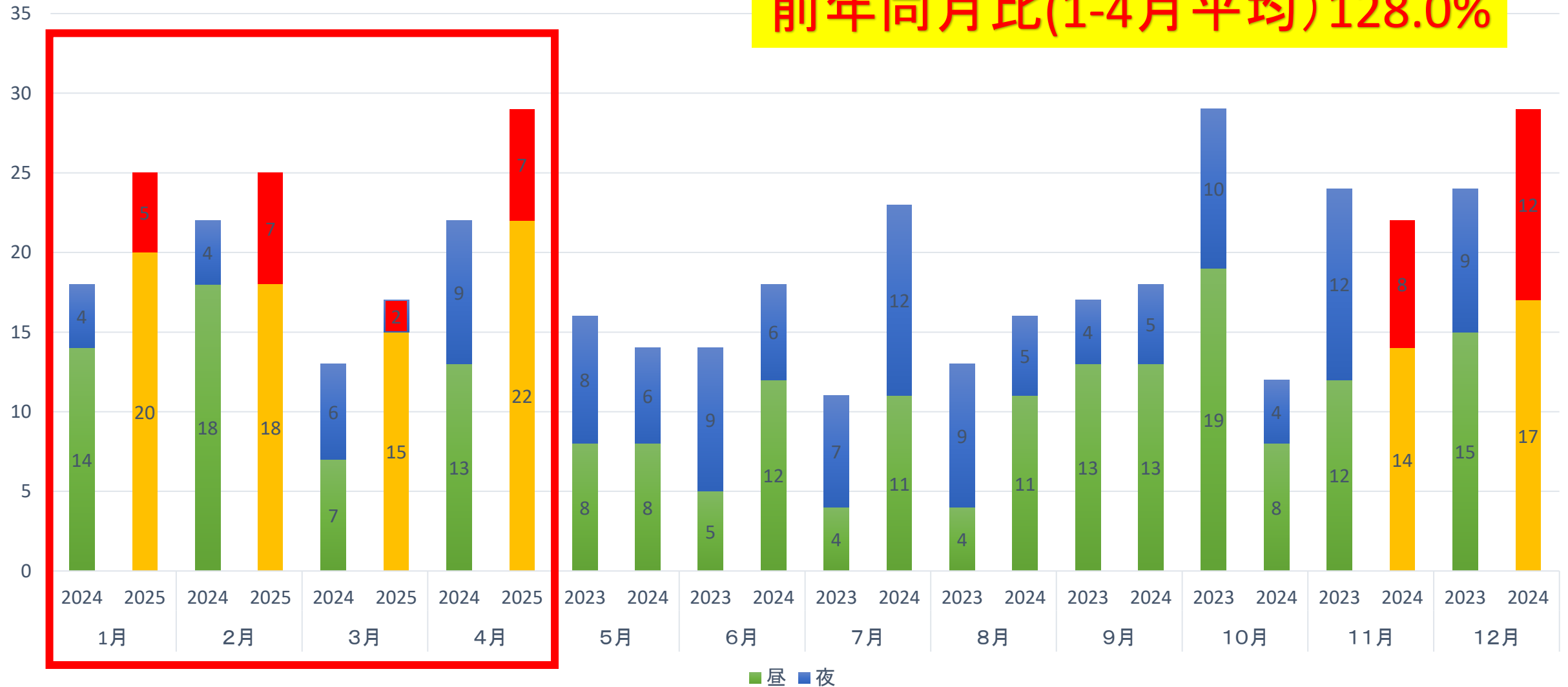
入院患者延数の推移

前年同月比(1-4月平均) 130.4%

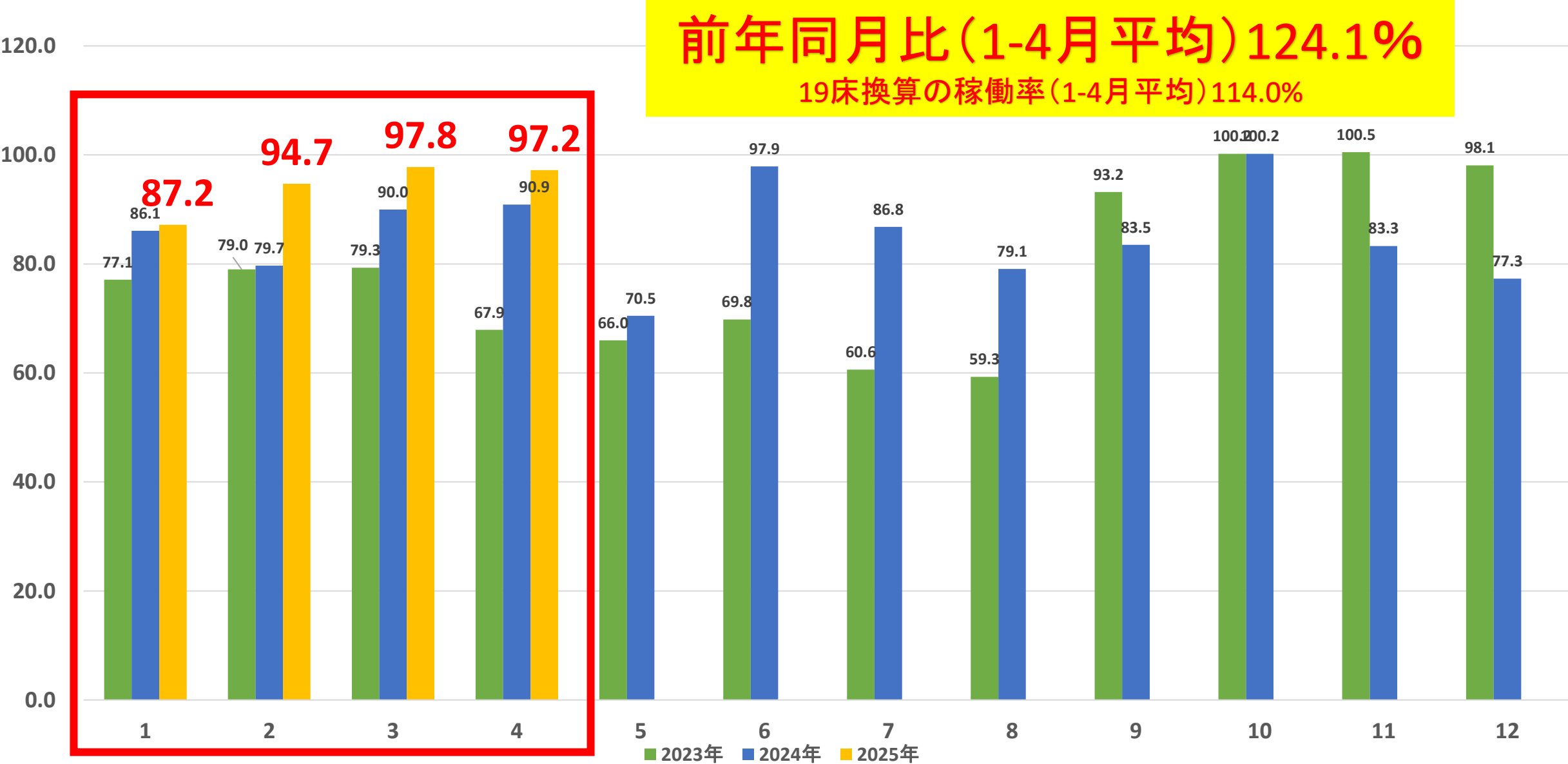


救急搬送件数の推移

前年同月比(1-4月平均) 128.0%



病床稼働率(%)の推移



診療実績

2024年実績

1日平均外来患者数	151.8名
1日平均入院患者数	15.0名
1ヵ月平均救急車台数	18.9台
経皮的冠動脈形成術(PCI)	249例
末梢血管カテーテル治療(EVT)	35例
経皮的カテーテル心筋焼灼術(ABL)	223例
ペースメーカー移植・交換術	57例
開胸手術	34例
ステントグラフト内挿術	15例
脳血管内手術	31例

指定医療機関
救急医療告示病院
難病指定医療機関
生活保護法指定医療機関
紹介受診重点医療機関

施設認定	施設基準
日本循環器学会 循環器専門医研修関連施設(旧制度)認定(2016年4月) 循環器専門医研修施設(新制度)認定(2024年4月) 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設認定(2016年6月) 胸部ステントグラフト実施施設認定(2019年4月) 下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設認定(2016年6月) 日本不整脈心電学会 不整脈専門医研修施設認定(2017年4月) 日本心血管インターベンション治療学会 研修施設認定(2017年11月) 日本外科学会 外科専門医制度関連施設認定(2018年1月) National Clinical Database NCD施設会員[外科領域](2020年3月) 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設認定(2022年4月) 日本脳卒中学会 一次脳卒中センター認定(2023年4月) 紹介受診重点医療機関認定(2023年8月) 日本脳神経血管内治療学会 専門医研修施設(2024年4月) 昭和大学 学外臨床研究医療機関認定(2020年5月) 帝京大学医学部付属病院 循環器内科研修関連施設群(旧制度) 内科専門医研修プログラム 筑波記念病院 内科専門医研修プログラム 外科専門医研修プログラム 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 修練施設認定(新規基準)(血管領域)(2024年1月)	医療DX推進体制整備加算・医療情報取得加算 救急医療管理加算1 超急性期脳卒中加算 医師事務作業補助体制加算1 20対1 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算 ニコチン依存症管理料 がん治療連携指導料 医療機器安全管理料1 在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料 検体検査管理加算(1) 検体検査管理加算(2) CT撮影及びMRI撮影 心大血管疾患リハビリテーション料(1) ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー) 大動脈バルーンパンピング法(IABP法) 植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極拔去術 両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合) 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合) 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) 一般病棟入院基本料 急性期一般入院料1 感染対策向上加算3 診療録管理体制加算3 データ提出加算 1・3の口(医療法上の許可病床数が200床未満) 入院時食事療養／生活療養(Ⅰ)

24時間365日救急体制について

救急告示病院申請

4月

救急対応
チーム結成
緊急手術
HCU担当
看護師育成

救急告示病院化 24時間救急受入開始

5月

急性期一般
入院料①
算定開始

医療安全加算①取得

6月

心臓外科
緊急手術
対応準備

HCU医療管理加算準備

緊急手術対応

2025年度に実施予定

・救急隊からのホットラインに24時間365日対応	2025年5月より開始
・冠動脈疾患に対する「ダイヤモンドバック」を実施する	2025年5月より開始
・重症心不全に対する「心臓再同期療法(CRT)」を実施する	2024年12月より開始
・重症の不整脈に対する「植込み型除細動器(ICD)」を実施する	2024年12月より開始
・重症の心室性不整脈に対する「両心室ペーシング機能付き植込み型除細動器(CRT-D)」を実施する	2024年12月より開始
・緊急植え込み型ペースメーカー術への対応を行う	2025年4月より開始
・冠動脈疾患に対する「ショックウェーブ(冠動脈IVLシステム)」を実施する	2025年8月より開始予定
・小開胸左心耳閉鎖術を開始する	2025年8月より開始予定
・低侵襲心臓手術（MICS）を開始する	2025年8月より開始予定
・僧帽弁閉鎖不全症に対する「MitraClip(経皮的僧帽弁接合不全修復術)」を実施する	2025年8月より開始予定

2025年度以降に計画

・ICUまたはCCUの整備を行う	
・緊急心臓血管外科手術（急性大動脈解離、緊急CABG）を開始する	
・心原性ショックや急性心不全に対する「IMPELLA（補助循環用ポンプカテーテル）」を実施する	
・心臓弁膜症に対する「経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）」を実施する	

令和7年度 医師派遣要望の調整について

■本年度の主な留意事項

- ・医師少数区域は医療圏あたり5人以内とする。
- ・医療圏内での診療科の重複要望は不可とする。

■派遣要望調査対象病院

病院名	政策医療の分野					
	がん	脳卒中	心血管疾患	救急医療	周産期医療	小児救急医療
小山記念病院	○	○	○	○	○	
白十字総合病院				○		
神栖済生会病院				○		○
高須病院				○		
鉾田病院				○		
鹿嶋ハートクリニック		○	○			

■保健所から各医療機関への依頼

- ・各医療機関からの要望は、1～2名でお願いします。
- ・重複した医療機関へご連絡させていただき、調整をお願いする場合があります。

■各医療機関からの要望（4病院8名）

優先順位	白十字総合病院		神栖済生会病院		小山記念病院		鹿嶋ハートクリニック	
	診療科	分野	診療科	分野	診療科	分野	診療科	分野
①	内科	救急	腎臓内科 (再)	救急	腎臓内科	救急	循環器内科	心血管疾患
②	整形外科	救急	呼吸器内科 (再)	救急	腎臓内科	救急	心臓血管外科	心血管疾患

○各病院から要望のあった診療科目は、地域としての最重要課題である救急受入を増加させるための要望であるが、当医療圏からの要望人数は5人以内とする必要があることから、以下のとおり整理・調整する。

■要望順位1位の取扱い（案）

（採用）

- ・要望順位1位に上げており、診療科目が重複していない「白十字総合病院の内科」「鹿嶋ハートクリニックの循環器内科」は採用とする。

（協議）

- ・医療圏内での診療科の重複要望は不可のため、神栖済生会病院と小山記念病院の腎臓内科については、一方のみとする必要があるため、協議が必要である。
- ※仮に神栖済生会病院が採用された場合は小山記念病院からの要望は出来なくなる。

■要望順位2位の取扱い（案）

（採用）

- ・上記協議において、不採用となった病院の要望順位2位を採用する。（腎臓内科除く）

（協議）

- ・残り1枠又は2枠について協議が必要である。

■調整後の案

- ・太枠2名は採用。残り3枠を協議。

優先 順位	白十字総合病院		神栖済生会病院		小山記念病院		鹿嶋ハートクリニック	
	診療科	分野	診療科	分野	診療科	分野	診療科	分野
①	内科	救急	腎臓内科 (再)	救急	腎臓内科	救急	循環器内科	心血管 疾患
②	整形外科	救急	呼吸器内科 (再)	救急	腎臓内科	救急	心臓血管 外科	心血管 疾患

※医療圏において5名の順位付けは行わない。（後日依頼があった場合は、上記のとおり4病院の要望1位は全て1位とし、2名要望した病院の要望2位の診療科を2位とする。）

■県医療人材課への提出

- ・本日の会議結果を反映し、R7 調査票（総括表）及び要望する病院の個票①・②を県医療人材課へ提出する。

※個票②については、医療機関の機微な情報が記載されているため一部を空欄としております。

【回答提出先】 茨城県保健医療部医療局医療人材課 医師確保グループあて
E-mail: idoctor@pref.ibaraki.lg.jp

【回答者情報】

二次保健医療圏	鹿行保健医療
担当者所属	鹿行保健所 地域保健推進室
担当者職氏名	係長 川上 孝行
電話番号（内線）	0299-66-2115
Eメールアドレス	itaho01@pref.ibaraki.lg.jp

令和7年度医師派遣調整に係る医師派遣要望調査

問1 地域医療構想調整会議における議論の状況について

(1) 茨城県地域医療構想（平成28年12月策定）における二次医療圏内の政策医療の現状及び課題

脳卒中・急性心筋梗塞等の患者が域外流出している。
医師、歯科医師、薬剤師、看護師等が不足しており、特に医師の不足が顕著となっている。
救急搬送に時間がかかっている。

(2) その後の調整会議における議論や社会情勢の変化等により新たに生じた課題等（医療機関の開閉・閉鎖、結核合、新興感染症、災害、都市計画、人口減少、少子化、高齢化、公共文通等）

【救急医療】
救急搬送については、地域全体で、年間2,000台の増加を目指すことで合意を得られた。
一方で、行方市及び鉾田市の救急搬送については、なめがた地域医療センターの休床等により、搬送先の確保等の課題が残っている。

(3) 上記の課題に対する医療圏としての対応方針、医療機能の拠点化・集約化に向けた今後の方向性

【脳 卒 中】 重症患者への救急対応：小山記念病院（日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター） 専門的医療を行う医療機関：小山記念病院・白十字総合病院・鹿嶋ハートクリニック
→一次脳卒中センターでもある小山記念病院を中心に、地域においてある一定程度の診療を行える体制を構築して行く必要がある。

【心血管疾患】 重症患者への救急対応：小山記念病院・鹿嶋ハートクリニック 専門的医療を行う医療機関：小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院・鹿嶋ハートクリニック

【がん】 重症患者への救急対応：小山記念病院（地域がん診療病院） 専門的医療を行う医療機関：小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院
上記については、現状の確認のみを行ったところであり、引き続き拠点化・集約化等の協議を行っている。

【救急医療】 重症患者への救急対応：小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院・高須病院 専門的医療を行う医療機関：小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院・高須病院・鉾田病院・なめがた地域医療センター
救急搬送については、地域全体で、年間2,000台の増加を目指すことで合意を得られている。
なめがた地域医療センターについては、2025年までに専門的医療を廃止することを予定している。
各医療機関において、自助努力を含めあらゆる方策を取りながら域内での救急受入の増加を目指していく必要がある。

【周産期医療】 小山記念病院（周産期救急医療協力病院）
【小児救急医療】 神栖済生会病院（地域小児救急センター）

(4) 課題解決に向けた各政策医療分野における各医療機関の拠点化・集約化・役割分担・連携・機能分化の方向性

政策医療分野	医療機能の拠点化・集約化、各医療機関の役割分担・連携・機能分化の方向性 ※機能強化する医療機関についてのみでなく、それに伴う他の医療機関の対応についても記載願います
がん	【重症患者への救急対応】：小山記念病院（地域がん診療病院） 【専門的医療を行う医療機関】：小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院 ■役割分担について協議を行っておらず、今後継続的な協議が必要
脳卒中	【重症患者への救急対応】：小山記念病院（日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター） 【専門的医療を行う医療機関】：小山記念病院・白十字総合病院・鹿嶋ハートクリニック ■一時脳卒中センターである小山記念病院（365日24時間体制）を中心に、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニックにおいて専門的な医療を行っている。
心血管疾患	【重症患者への救急対応】：小山記念病院・鹿嶋ハートクリニック 【専門的医療を行う医療機関】：小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院・鹿嶋ハートクリニック ■役割分担について協議を行っておらず、今後継続的な協議が必要
救急医療	【重症患者への救急対応】：小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院・高須病院 【専門的医療を行う医療機関】：小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院・高須病院・鉾田病院・なめがた地域医療センター ■ 救急搬送受入件数について、 地域全体で年間2,000件の増加を目標に取り組む。 ■ 搬送時間の短縮と受入強化のため、小山記念病院は2025年に回復期病床を急性期病床への病床転換を行う（30床）。 ■ 各医療機関とも救急搬送要請を断らない方針を掲げ努力をしているが、要請件数が増え疾患の幅が多様化する中で自助努力では対応できなくなっている。 鹿行医療圏内で発生している救急搬送患者のうち4割弱が域外に搬送されている状況を減らすためにも、各医療機関の体制を強化することは必須な状況である。
周産期医療	小山記念病院（周産期救急医療協力病院） 他の医療機関：白十字総合病院、葉山産婦人科、つばきクリニック
小児救急医療	神栖済生会病院（地域小児救急センター） 他の医療機関：白十字総合病院、高須病院、鉾田病院、なめがた地域医療センター、小児科標榜診療所（41箇所）

問2 医師派遣要望について

(1) 問1を踏まえ、医療圏としてR7年度に医師派遣が必要な病院・診療科・医師数及び医師派遣が必要な理由を記載してください。

※医療圏全体の具体的なデータに基づき、医師派遣の必要性が客観的にわかるように記載してください。なお、理由記載にあたり使用する数値データ等の引用元を「参考資料」の欄に記載のうえ、調査票とともに提出してください。
※補正後の要望人数が4人（医師少数区域の医療圏は5人）以内、かつ、診療科の重複は不可。

病院名	診療科 ※プルダウンで選択 （その他を選択した場合は 自由記載欄に科名を記載）	政策医療分野 ※プルダウン選択	医師数					前年度 派遣要請有 （該当に○）	医師派遣が必要な理由 （前年度派遣要請有で、地対協・大字からの医療圏に対する意見に 対応した事項がある場合には、当該意見とその対応状況も記載）	参考資料
			R7.4.1 現員数	年度内増減 予定人数	派遣要望 a	補正対象 （該当に○）	補正後 b=a×1/2			
※本日の協議結果により記入。 記載内容は、各病院の優先②を基に転記・作成する。										
白十字総合病院	内科	救急医療	6	0	1				当院はケアミックス型（一般・地域包括ケア・療養）であり、三次救急医療機関等の後方支援として、転院受入れも行ってあります。多くは高齢者であることから内科の入院患者数が年々増加し、R6年度は1医師あたりの1日入院患者数は19.6人（R6）でありました。内科常勤医は5名体制ではありますが、救急車対応、外来診療、病棟管理で逼迫しており、救急車の応需率低下の大きな要因となっております。鹿行地域では管外搬送が44%（R6）であり、管内での受入強化、収容率向上が強く望まれております。当院の救急車受入件数は1605件（R6）、収容率としては58%であり、現状以上に救急車の応需率向上を実現するためにも、内科常勤医の体制強化が必要です。	
鹿嶋ハートクリニック	循環器内科	救急医療	7.8	0	1				現在、全国的にいわれる「心不全パニック」とも言われる状況が進行しており、鹿行地域においても循環器疾患の増加に対する対応が地域医療体制の大きな課題となっています。とりわけ、当該地域では循環器疾患の重症患者に対応できる医療資源が限られており、域外への搬送が常態化しています。 当院は2024年11月に病院機能を拡充し、ハイレベル手術室を2室体制としましたが、医師体制が整わず救急手術を十分に受け入れることができない状況が続いています。このため、緊急性の高い疾患（例：急性大動脈脈瘤等）に対して迅速な治療が行えず、患者の搬送中に救命の機会を逸する事例も発生しています。 こうした背景を踏まえ、地域における循環器疾患の拠点病院として機能を強化し、患者を域内で確実に受け入れる体制を構築することを目的として、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科の医師派遣を要望いたします。	
合計									←上限人数以内であること（医療圏間での融通があった場合はこの限りでない）	

(2) (1)において、医療圏間で上限枠を融通した場合は、その対象となる情報を記載してください。

融通した医療圏名	融通した人数※	※上限枠を増した場合は整数を、減した場合は負数を記載してください。
0	0	

(3) (1)のほか、やむをえない理由により上限人数を超えて要望するもの、または(1)で診療科が重複する要望について、病院名、診療科、医師数、要望の優先順位及び医師派遣が必要な理由（上限を超える又は診療科が重複する理由も含む）を記載してください。医療圏全体の具体的なデータに基づき、医師派遣の必要性が客観的にわかるように記載してください。なお、理由記載にあたり使用する数値データ等の引用元を「参考資料」の欄に記載のうえ、調査票とともに提出してください。

※診療科の重複については再掲のうえ、重複する理由を記載してください。
※優先順位が付いていない要望は不可。

病院名	診療科 ※プルダウンで選択 （その他を選択した場合は 自由記載欄に科名を記載）	政策医療分野 ※プルダウン選択	医師数				優先順位	前年度 派遣要請 有 （該当に○）	医師派遣が必要な理由 （上限人数を超える又は診療科が重複する理由も含む） （前年度派遣要請有で、地対協・大字からの医療圏に対する意見に 対応した事項がある場合には、当該意見とその対応状況も記載）	参考資料
			R7.4.1 現員数	年度内増減 予定人数	派遣要望 a					

※自由記載欄（その他、または表に記入できない場合）

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票 (個票①)【基本情報】

【回答者情報】

医療機関名

白十字総合病院

担当者所属

企画課

担当者職氏名

課長 池宮 毅

電話番号 (内線)

Eメールアドレス

(単位:人)

色付きのセルに入力してください。

		問1 医師数 (総数)														問2 専門研修の可否				問3 政策医療機能に係る関連診療科					
		問1- (1) 現員医師数 (R7. 4. 1現在)						問1- (2) 増員 (減員) 医師数 (要望時点で把握しているもの)				問1- (3) 派遣要望医師数				研修可	施設区分			がん	脳卒中	心血管疾患	救急医療	周産期医療	小児医療
No	診療科名	合計 A+B	常勤	非常勤	計 (A)	うち 指導医	常勤	非常勤	計 (B)	うち 指導医	増員 (減員) 理由	常勤	非常勤	計 (C)	うち専攻医 等可能数	派遣元 (大学等) (希望がある場合)	基幹 施設	連携 施設	連携先の基幹施設						
1	内科	6.0	5.0	1.0	6.0	2.0			0.0			1.0		1.0			○	○	土浦協同病院、茨城県立中央病院、東京医大文京医療センター、筑				◎		
2	呼吸器内科	0.0			0.0				0.0					0.0									◎		
3	循環器内科	0.0			0.0				0.0					0.0									◎		
4	消化器内科 (胃腸内科)	0.0			0.0				0.0					0.0									◎		
5	腎臓内科	0.0			0.0				0.0					0.0											
6	神経内科	0.0			0.0				0.0					0.0											
7	糖尿病内科 (代謝内科)	0.0			0.0				0.0					0.0											
8	血液内科	0.0			0.0				0.0					0.0											
9	皮膚科	1.1	1.0	0.1	1.1				0.0					0.0											
10	アレルギー科	0.0			0.0				0.0					0.0											
11	リウマチ科	0.0			0.0				0.0					0.0											
12	感染症内科	0.0			0.0				0.0					0.0											
13	小児科	1.6	1.0	0.6	1.6				0.0					0.0											
14	精神科	0.0			0.0				0.0					0.0											
15	心療内科	0.0			0.0				0.0					0.0											
16	外科	5.7	5.0	0.7	5.7	3.0			0.0					0.0			○	○	筑波大学、筑波記念病院				◎		
17	呼吸器外科	0.7		0.7	0.7				0.0					0.0											
18	心臓血管外科	0.0			0.0				0.0					0.0											
19	乳腺外科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0											
20	気管食道外科	0.0			0.0				0.0					0.0											
21	消化器外科 (胃腸外科)	0.0			0.0				0.0					0.0											
22	泌尿器科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0											
23	肛門外科	0.0			0.0				0.0					0.0											
24	脳神経外科	1.9	1.0	0.9	1.9	1.0			0.0					0.0			○	○	日本大学				◎		
25	整形外科	2.1	1.0	1.1	2.1				0.0			1		1.0									◎		
26	形成外科	0.0			0.0				0.0					0.0											
27	美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0											
28	眼科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0											
29	耳鼻咽喉科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0											
30	小児外科	0.0			0.0				0.0					0.0											
31	産婦人科	1.5	1.0	0.5	1.5	1.0			0.0					0.0			○	○	土浦協同病院、筑波大学						
32	産科	0.0			0.0				0.0					0.0											
33	婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0											
34	リハビリテーション科	0.0			0.0				0.0					0.0											
35	放射線科	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0											
36	麻酔科	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0											
37	病理診断科	0.0			0.0				0.0					0.0											
38	臨床検査科	0.0			0.0				0.0					0.0											
39	救急科	0.0			0.0				0.0					0.0											
40	全科 (総合診療科)	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0			○	○	東京女子医科大学病院				◎		
41	その他 (※自由記載)	6.2	6.0	0.2	6.2				0.0					0.0											
合計		30.9	24.0	6.9	30.9	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0				2.0											

問4 令和6年度病床機能報告 (令和6年7月1日現在) における病床数を記載してください

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
304		154	40	90	20

問1- (3) において派遣要望を行う医療機関については、調査票② (派遣要望内容) を作成してください。

調査票 (個票①)【基本情報】

[回答者情報] 医療機関名 鹿行保健医療圏
担当者所属 神栖済生会病院・総務課
担当者職氏名 総務課長・宮内 隆史
電話番号 (内線)
Eメールアドレス

色付きのセルに入力してください。

(単位:人)

		問1 医師数 (総数)															問2 専門研修の可否				問3 政策医療機能に係る関連診療科					
		問1- (1) 現員医師数 (R7. 4. 1現在)					問1- (2) 増員 (減員) 医師数 (要望時点で把握しているもの)					問1- (3) 派遣要望医師数					研修可	施設区分			がん	脳卒中	心血管疾患	救急医療	周産期医療	小児医療
No	診療科名	合計 A+B	常勤	非常勤	計 (A)	うち 指導医	常勤	非常勤	計 (B)	うち 指導医	増員 (減員) 理由	常勤	非常勤	計 (C)	うち専攻医 等可能数	派遣元 (大学等 希望がある場合)		基幹 施設	連携 施設	連携先の基幹施設						
1	内科	2.3	2.0	0.3	2.3				0.0					0.0			○	○	筑波大学附属病院 他					◎		
2	呼吸器内科	0.5		0.5	0.5				0.0			1		1.0										◎		
3	循環器内科	3.1	3.0	0.1	3.1	1.0			0.0					0.0										◎		
4	消化器内科 (胃腸内科)	0.0			0.0				0.0					0.0										◎		
5	腎臓内科	0.7		0.7	0.7				0.0			1		1.0										◎		
6	神経内科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0										◎		
7	糖尿病内科 (代謝内科)	0.0			0.0				0.0					0.0										◎		
8	血液内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
9	皮膚科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
10	アレルギー科	0.0			0.0				0.0					0.0												
11	リウマチ科	0.0			0.0				0.0					0.0												
12	感染症内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
13	小児科	5.8	5.0	0.8	5.8				0.0					0.0			○	○	順天堂大学医学部附属病院群					◎		◎
14	精神科	0.0			0.0				0.0					0.0												
15	心療内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
16	外科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0			○	○	日本医科大学					◎		
17	呼吸器外科	0.0		0.0	0.0				0.0					0.0												
18	心臓血管外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
19	乳腺外科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
20	気管食道外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
21	消化器外科 (胃腸外科)	5.6	5.0	0.6	5.6	1.0			0.0					0.0			○	○	日本医科大学					◎		
22	泌尿器科	2.3	2.0	0.3	2.3	1.0			0.0					0.0			○	○	日本医科大学					◎		
23	肛門外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
24	脳神経外科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0										◎		
25	整形外科	4.3	4.0	0.3	4.3	1.0			0.0					0.0			○	○	順天堂大学 他					◎		
26	形成外科	1.4	1.0	0.4	1.4				0.0					0.0			○	○	日本医科大学 他					◎		
27	美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
28	眼科	1.5	1.0	0.5	1.5				0.0					0.0												
29	耳鼻咽喉科	0.7		0.7	0.7				0.0					0.0												
30	小児外科	0.0		0.0	0.0				0.0					0.0												
31	産婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0												
32	産科	0.0			0.0				0.0					0.0												
33	婦人科	0.5		0.5	0.5				0.0					0.0												
34	リハビリテーション科	0.0			0.0				0.0					0.0												
35	放射線科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0												
36	麻酔科	1.2	1.0	0.2	1.2	1.0			0.0					0.0			○	○	筑波大学附属病院					◎		
37	病理診断科	0.0			0.0				0.0					0.0												
38	臨床検査科	0.0			0.0				0.0					0.0												
39	救急科	0.5		0.5	0.5				0.0					0.0										◎		
40	全科 (総合診療科)	7.6	6.0	0.6	6.6	1.0	1.0		1.0		医局派遣			0.0			○	○	筑波大学附属病院 他					◎		
41	その他 (※自由記載)	1.1	1.0	0.1	1.1				0.0					0.0												
合計		40.3	31.0	8.3	39.3	6.0	1.0	0.0	1.0	0.0				2.0												

問4 令和6年度病床機能報告 (令和6年7月1日現在) における病床数を記載してください

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
179		179			

問1- (3) において派遣要望を行う医療機関については、調査票② (派遣要望内容) を作成してください。

調査票 (個票①)【基本情報】

[回答者情報]

医療機関名

小山記念病院

担当者所属

本部事務局

担当者職氏名

事務長 花香 淳一

電話番号 (内線)

Eメールアドレス

色付きのセルに入力してください。

(単位:人)

		問1 医師数 (総数)										問2 専門研修の可否						問3 政策医療機能に係る関連診療科								
		問1-(1) 現員医師数 (R7. 4. 1現在)				問1-(2) 増員 (減員) 医師数 (要望時点で把握しているもの)				問1-(3) 派遣要望医師数						研修可	施設区分			がん	脳 卒 中	心 血 管 疾 患	救 急 医 療	周 産 期 医 療	小 児 医 療	
№	診療科名	合計 A+B	常勤	非常勤	計 (A)	うち 指導医	常勤	非常勤	計 (B)	うち 指導医	増員 (減員) 理由	常勤	非常勤	計 (C)	うち専攻医 等可能数		派遣元 (大学等) (希望がある場合)	基幹 施設	連携 施設							連携先の基幹施設
1	内科	4.4	4.0	0.4	4.4	1.0			0.0					0.0			○		○	筑波大学	○			○		
2	呼吸器内科	3.7	3.0	0.7	3.7				0.0					0.0						○	○	○	○			
3	循環器内科	8.6	6.0	1.6	7.6		1.0		1.0		減員…昭和大学からの派遣			0.0			○		○	昭和大学	○	○	○	○		
4	消化器内科 (胃腸内科)	7.4	6.0	1.4	7.4	2.0			0.0					0.0						○			○			
5	腎臓内科	3.6	3.0	0.6	3.6				0.0			2		2.0										○		
6	神経内科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
7	糖尿病内科 (代謝内科)	3.6	2.0	0.6	2.6	1.0	1.0		1.0		増員1…杏林大学からの派遣 減員2…昭和大学、茨城県立中央病院からの派遣			0.0										○		
8	血液内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
9	皮膚科	0.0			0.0				0.0					0.0												
10	アレルギー科	0.0			0.0				0.0					0.0												
11	リウマチ科	0.0			0.0				0.0					0.0												
12	感染症内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
13	小児科	2.0	2.0		2.0				0.0					0.0												
14	精神科	0.0			0.0				0.0					0.0												
15	心療内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
16	外科	5.5	5.0	0.5	5.5				0.0					0.0			○		○	杏林大学、筑波大学	○			○		
17	呼吸器外科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0						○			○			
18	心臓血管外科	0.6		0.6	0.6				0.0					0.0								○	○			
19	乳腺外科	1.1	1.0	0.1	1.1				0.0					0.0						○			○			
20	気管食道外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
21	消化器外科 (胃腸外科)	0.0			0.0				0.0					0.0						○			○			
22	泌尿器科	5.2	4.0	1.2	5.2	2.0			0.0					0.0			○		○	筑波大学	○			○		
23	肛門外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
24	脳神経外科	6.7	6.0	0.7	6.7	4.0			0.0					0.0			○		○	杏林大学、筑波大学		○	○	○		
25	整形外科	4.0	3.0	1.0	4.0				0.0					0.0			○		○	杏林大学				○		
26	形成外科	1.9	1.0	0.9	1.9				0.0					0.0												
27	美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
28	眼科	1.3	1.0	0.3	1.3				0.0					0.0												
29	耳鼻咽喉科	0.0			0.0				0.0					0.0												
30	小児外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
31	産婦人科	8.2	7.0	1.2	8.2	1.0			0.0					0.0			○		○	杏林大学、筑波大学	○			○	○	
32	産科	0.0			0.0				0.0					0.0										○	○	
33	婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0							○			○	○	
34	リハビリテーション科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0								○				
35	放射線科	1.7	1.0	0.7	1.7				0.0					0.0							○	○	○	○		
36	麻酔科	7.3	6.0	1.3	7.3	3.0			0.0					0.0							○	○		○	○	
37	病理診断科	0.0			0.0				0.0					0.0												
38	臨床検査科	0.0			0.0				0.0					0.0												
39	救急科	3.0	3.0		3.0				0.0					0.0			○		○	筑波大学	○	○	○	○	○	
40	全科 (総合診療科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
41	その他 (※自由記載)	7.3	6.0	0.3	6.3		1.0		1.0		減員			0.0												
合計		87.4	70.0	14.4	84.4	14.0	3.0	0.0	3.0	0.0				2.0												

問4 令和6年度病床機能報告 (令和6年7月1日現在) における病床数を記載してください

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
224	37	157	30	0	0

問1-(3) において派遣要望を行う医療機関については、調査票② (派遣要望内容) を作成してください。

調査票 (個票①)【基本情報】

【回答者情報】

医療機関名

鹿嶋ハートクリニック

担当者所属

事業推進課

担当者職氏名

高宮 椰弘

電話番号 (内線)

Eメールアドレス

(単位:人)

		問1 医師数 (総数)														問2 専門研修の可否				問3 政策医療機能に係る関連診療科							
		問1ー(1) 現員医師数 (R7. 4. 1現在)					問1ー(2) 増員(減員) 医師数 (要望時点で把握しているもの)					問1ー(3) 派遣要望医師数				研修可	施設区分			がん	脳卒中	心血管疾患	救急医療	周産期医療	小児医療		
		常勤	非常勤	計(A)	うち指導医	常勤	非常勤	計(B)	うち指導医	増員(減員)理由	常勤	非常勤	計(C)	うち専攻医等可能数	派遣元(大学等) (希望がある場合)		基幹施設	連携施設	連携先の基幹施設								
No	診療科名																									合計A+B	
1	内科	0.0			0.0				0.0																		
2	呼吸器内科	0.0			0.0				0.0																		
3	循環器内科	7.8	6.0	1.8	7.8				0.0			1		1.0			○	○	○	帝京大学医学部附属病院				○			
4	消化器内科(胃腸内科)	0.0			0.0				0.0					0.0													
5	腎臓内科	0.0			0.0				0.0					0.0													
6	神経内科	0.0			0.0				0.0					0.0													
7	糖尿病内科(代謝内科)	0.0			0.0				0.0					0.0													
8	血液内科	0.0			0.0				0.0					0.0													
9	皮膚科	0.0			0.0				0.0					0.0													
10	アレルギー科	0.0			0.0				0.0					0.0													
11	リウマチ科	0.0			0.0				0.0					0.0													
12	感染症内科	0.0			0.0				0.0					0.0													
13	小児科	0.0			0.0				0.0					0.0													
14	精神科	0.0			0.0				0.0					0.0													
15	心療内科	0.0			0.0				0.0					0.0													
16	外科	0.0			0.0				0.0					0.0													
17	呼吸器外科	0.0			0.0				0.0					0.0													
18	心臓血管外科	3.0	3.0		3.0				0.0			1		1.0			○	○	○	昭和医科大学江東豊洲病院				○			
19	乳腺外科	0.0			0.0				0.0					0.0													
20	気管食道外科	0.0			0.0				0.0					0.0													
21	消化器外科(胃腸外科)	0.0			0.0				0.0					0.0													
22	泌尿器科	0.0			0.0				0.0					0.0													
23	肛門外科	0.0			0.0				0.0					0.0													
24	脳神経外科	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0								○					
25	整形外科	0.0			0.0				0.0					0.0													
26	形成外科	0.0			0.0				0.0					0.0													
27	美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0													
28	眼科	0.0			0.0				0.0					0.0													
29	耳鼻咽喉科	0.0			0.0				0.0					0.0													
30	小児外科	0.0			0.0				0.0					0.0													
31	産婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0													
32	産科	0.0			0.0				0.0					0.0													
33	婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0													
34	リハビリテーション科	0.0			0.0				0.0					0.0													
35	放射線科	0.0			0.0				0.0					0.0													
36	麻酔科	0.0			0.0				0.0					0.0													
37	病理診断科	0.0			0.0				0.0					0.0													
38	臨床検査科	0.0			0.0				0.0					0.0													
39	救急科	0.0			0.0				0.0					0.0													
40	全科(総合診療科)	0.0			0.0				0.0					0.0													
41	その他(※自由記載)	0.0			0.0				0.0					0.0													
合計		11.8	10.0	1.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				2.0													

問4 令和6年度病床機能報告 (令和6年7月1日現在) における病床数を記載してください

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
19	19				

問1- (3) において派遣要望を行う医療機関については、調査票② (派遣要望内容) を作成してください。

調査票 (個票①)【基本情報】

【回答者情報】	医療機関名	医療法人三尚会 高須病院
	担当者所属	事務局
	担当者職氏名	統括事務長 伊藤 善朗
	電話番号 (内線)	
	Eメールアドレス	

色付きのセルに入力してください。

(単位:人)

		問1 医師数 (総数)															問2 専門研修の可否				問3 政策医療機能に係る関連診療科						
		問1ー(1) 現員医師数 (R7. 4. 1現在)					問1ー(2) 増員(減員) 医師数 (要望時点で把握しているもの)					問1ー(3) 派遣要望医師数					研修可	施設区分			がん	脳 卒 中	心 血 管 疾 患	救 急 医 療	周 産 期 医 療	小 児 医 療	
		合計 A+B	常勤	非常勤	計(A) うち 指導医	常勤	非常勤	計(B) うち 指導医	増員(減員) 理由	常勤	非常勤	計(C)	うち専攻医 等可能数	派遣元(大学等) (希望がある場合)	基幹 施設	連携 施設		連携先の基幹施設									
No	診療科名																										
1	内科	1.0	1.0		1.0		0.0	0.0	0.0	0			0.0						○	○	○	○					
2	呼吸器内科	0.1		0.1	0.1			0.0				0.0										○					
3	循環器内科	0.3		0.3	0.3			0.0				0.0									○	○					
4	消化器内科(胃腸内科)	0.1		0.1	0.1			0.0				0.0							○								
5	腎臓内科	0.0			0.0			0.0				0.0															
6	神経内科	0.0			0.0			0.0				0.0															
7	糖尿病内科(代謝内科)	0.3		0.3	0.3			0.0				0.0															
8	血液内科	0.0			0.0			0.0				0.0															
9	皮膚科	0.0			0.0			0.0				0.0															
10	アレルギー科	0.0			0.0			0.0				0.0															
11	リウマチ科	0.0			0.0			0.0				0.0															
12	感染症内科	0.0			0.0			0.0				0.0															
13	小児科	0.3		0.3	0.3			0.0				0.0														○	
14	精神科	0.0			0.0			0.0				0.0															
15	心療内科	0.0			0.0			0.0				0.0															
16	外科	0.0			0.0			0.0				0.0											○				
17	呼吸器外科	0.0			0.0			0.0				0.0															
18	心臓血管外科	0.0			0.0			0.0				0.0															
19	乳腺外科	0.0			0.0			0.0				0.0															
20	気管食道外科	0.0			0.0			0.0				0.0															
21	消化器外科(胃腸外科)	0.1		0.1	0.1			0.0				0.0							○								
22	泌尿器科	0.3		0.3	0.3			0.0				0.0															
23	肛門外科	0.0			0.0			0.0				0.0								○		○					
24	脳神経外科	0.1		0.1	0.1			0.0				0.0										○					
25	整形外科	0.3		0.3	0.3			0.0				0.0															
26	形成外科	0.0			0.0			0.0				0.0															
27	美容外科	0.0			0.0			0.0				0.0															
28	眼科	0.0			0.0			0.0				0.0															
29	耳鼻咽喉科	0.1		0.1	0.1			0.0				0.0															
30	小児外科	0.0			0.0			0.0				0.0															
31	産婦人科	0.0			0.0			0.0				0.0															
32	産科	0.0			0.0			0.0				0.0															
33	婦人科	0.0			0.0			0.0				0.0															
34	リハビリテーション科	0.0			0.0			0.0				0.0															
35	放射線科	0.0			0.0			0.0				0.0															
36	麻酔科	0.0			0.0			0.0				0.0															
37	病理診断科	0.0			0.0			0.0				0.0															
38	臨床検査科	0.0			0.0			0.0				0.0															
39	救急科	1.0	1.0		1.0			0.0				0.0								○	○	○	◎		○		
40	全科(総合診療科)	1.3	1.0	0.3	1.3			0.0				0.0							○	○	○	○			○		
41	その他(※自由記載)	0.0			0.0			0.0				0.0															
合計		5.3	3.0	2.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0															

問4 令和6年度病床機能報告 (令和6年7月1日現在) における病床数を記載してください

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
55		55			

問1- (3) において派遣要望を行う医療機関については、調査票② (派遣要望内容) を作成してください。

調査票 (個票①)【基本情報】

【回答者情報】 医療機関名 医療法人 東湖会 銚田病院
担当者所属 事務長
担当者職氏名 栗股 巧
電話番号 (内線)
Eメールアドレス

色付きのセルに入力してください。

(単位:人)

No		診療科名	問1 医師数 (総数)														問2 専門研修の可否				問3 政策医療機能に係る関連診療科							
			問1ー(1) 現員医師数 (R7. 4. 1現在)					問1ー(2) 増員 (減員) 医師数 (要望時点で把握しているもの)					問1ー(3) 派遣要望医師数				研修可	施設区分			がん	脳 卒 中	心 血 管 疾 患	救 急 医 療	医 療 期	小 児 医 療		
			常勤	非常勤	計 (A)	うち 指導医		常勤	非常勤	計 (B)	うち 指導医	増員 (減員) 理由	常勤	非常勤	計 (C)	うち専攻医 等可能数		派遣元 (大学等) (希望がある場合)	基幹 施設	連携 施設							連携先の基幹施設	
1		内科	1.3	1.0	0.3	1.3				0.0				0.0			○	○	○	bbb	◎			○		◎		
2		呼吸器内科	0.0			0.0				0.0				0.0														
3		循環器内科	0.7		0.7	0.7				0.0				0.0														
4		消化器内科 (胃腸内科)	0.3		0.3	0.3				0.0				0.0														
5		腎臓内科	0.0			0.0				0.0				0.0														
6		神経内科	0.0			0.0				0.0				0.0														
7		糖尿病内科 (代謝内科)	0.0			0.0				0.0				0.0														
8		血液内科	0.0			0.0				0.0				0.0														
9		皮膚科	0.2		0.2	0.2				0.0				0.0														
10		アレルギー科	0.0			0.0				0.0				0.0														
11		リウマチ科	0.0			0.0				0.0				0.0														
12		感染症内科	0.0			0.0				0.0				0.0														
13		小児科	1.5		1.5	1.5				0.0				0.0														
14		精神科	0.0			0.0				0.0				0.0														
15		心療内科	0.0			0.0				0.0				0.0														
16		外科	1.0	1.0		1.0				0.0				0.0														
17		呼吸器外科	0.0			0.0				0.0				0.0														
18		心臓血管外科	0.0			0.0				0.0				0.0														
19		乳腺外科	0.0			0.0				0.0				0.0														
20		気管食道外科	0.0			0.0				0.0				0.0														
21		消化器外科 (胃腸外科)	0.0			0.0				0.0				0.0														
22		泌尿器科	0.0		0.0	0.0				0.0				0.0														
23		肛門外科	0.0			0.0				0.0				0.0														
24		脳神経外科	0.1		0.1	0.1				0.0				0.0														
25		整形外科	1.0	1.0		1.0				0.0				0.0														
26		形成外科	0.0			0.0				0.0				0.0														
27		美容外科	0.0			0.0				0.0				0.0														
28		眼科	1.1	1.0	0.1	1.1				0.0				0.0														
29		耳鼻咽喉科	0.2		0.2	0.2				0.0				0.0														
30		小児外科	0.0			0.0				0.0				0.0														
31		産婦人科	0.0			0.0				0.0				0.0														
32		産科	0.0			0.0				0.0				0.0														
33		婦人科	0.0			0.0				0.0				0.0														
34		リハビリテーション科	0.0			0.0				0.0				0.0														
35		放射線科	0.0			0.0				0.0				0.0														
36		麻酔科	0.4		0.4	0.4				0.0				0.0														
37		病理診断科	0.0			0.0				0.0				0.0														
38		臨床検査科	0.0			0.0				0.0				0.0														
39		救急科	0.0			0.0				0.0				0.0														
40		全科 (総合診療科)	0.0			0.0				0.0				0.0														
41		その他 (※自由記載)	0.0			0.0				0.0				0.0														
合計		7.6	4.0	3.6	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0														

問4 令和6年度病床機能報告 (令和6年7月1日現在) における病床数を記載してください

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
60		60			

問1- (3) において派遣要望を行う医療機関については、調査票② (派遣要望内容) を作成してください。

調査票 (個票②)【派遣要望内容】

色付きのセルに入力してください。

a.要望医療機関名	白十字総合病院				担当者	所属 氏名	企画課 池宮 毅	連絡先	電話 Mail							
b.派遣を求める診療科	内科	R7.4.1時点の医師数(人) ※非常勤は、常勤換算の人数とすること	常勤	5	自院での採用(人)		5									
			非常勤	1	大学等からの派遣(人)			派遣元の内訳								
c.派遣要望人数 ※非常勤は、常勤換算の人数とすること	常勤	1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○	専攻医クラス		派遣医師に求める 資格、技術等	救急対応(二次救急)、三次救急搬送等の迅速な判断、病棟管理、外来診療									
	専門医クラス															
	非常勤			指導医クラス												
d.要望の主な目的 ※該当に○	減員補充		具体的な要望理由、 派遣の必要性	当院はケアミックス型(一般・地域包括ケア・療養)であり、三次救急医療機関等の後方支援として、転院受入れも行っております。多くは高齢者であることから内科の入院患者数が年々増加し、R6年度は1医師あたりの1日入院患者数は19.6人(R6)でありました。内科常勤医は5名体制ではありますが、救急車対応、外来診療、病棟管理でひっ迫しており、救急車の応需率低下の大きな要因となっております。鹿行地域では管外搬送が44%(R6)であり、管内での受入強化、収容率向上が強く望まれております。当院の救急車受入件数は1605件(R6)、収容率としては58%であり、現状以上に救急車の応需率向上を実現するためにも、内科常勤医の体制強化が必要です。												
	体制強化	○														
	拠点形成															
	その他															
e.要望人数の根拠	「d.要望の主な目的」にお示した通り、医師不足の状況であります。現在の1医師あたりの1日入院患者数19.6人に対し、1名増員の場合17.2人と試算しております。これにより現在のひっ迫している状況が緩和され、救急車の応需率向上を見込むことができます。															
f.前年度の地対協・大学からの意見に対する対応状況等 ※前年度、地対協から大学等へ派遣要請を行ったものの、結果的に配置が実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載	前年度派遣要請の有無 ※該当に○		前年度の地対協・大学からの意見													
			上記意見に対する対応状況等													
g.専門研修の可否 ※内科・外科はサブスベ領域まで研修可能な場合にのみ「可」に○	可(基幹施設)		主な連携施設名													
	可(連携施設)		基幹施設名													
	可(関連施設)		基幹施設名													
	不可		今後の予定	プログラムを作成中		備考	県内の4病院についてプログラムの連携あり(土浦協同病院、茨城県立中央病院、東京医大茨城医療センター、筑波記念病院)									
				指導医を確保・養成中												
プログラムの作成予定なし																
h.取得可能な資格	「診療科の専門性とは異なるが、当院では健診部門の充実を図ると共に、専門的産業医養成プログラムを有しており、神栖市においては週末集中で産業医研修会が行われている。当院派遣期間中に資格取得可能である。															
i.派遣医師の具体的な業務	・派遣医師には、救急車対応、一般外来業務、入院患者主治医、全科当直また、内科カンファレンスはもとより、全科カンファレンスでの意見交換およびアドバイザーの役割も期待している。															
j.医師派遣による効果	・救急車収容率の向上について、医師派遣により日勤、夜勤帯とも収容率が向上し鹿行地域住民また救急搬送時間の短縮に対しての恩恵がある。 ・今般の派遣要請の最大の目的が救急車収容率の向上である。d.「要望理由」で記した状況に対し内科医師の派遣による救急搬送受け入れの拡大ができると考えている。救急要請不應需の主たる要因は医師体制不足のためであり、医師派遣によりこうした状況の改善が図れるものとする。当地域においては、休日・夜間に初期救急に対応する開業医不足もあるため、やむを得ず軽症患者が二次救急医療機関を直接受診する傾向もある。また 高齢化に伴う救急搬送の増加等により、三次救急医療機関をはじめとした高次の医療機関への搬送増加が懸念される中で、救急体制強化が必須と考える。(鹿行MC管外・県外への軽症搬送数1620件(R6)の解消)															
	R2	R3	R4	R5	R6	派遣後の見込	左の根拠									
①外来患者数	136,408	132,776	133,233	131,871	133,483	138,000	内科医師数(常勤・非常勤)より算出。									
うち要望診療科関係	41,903	41,069	42,114	39,081	38,713	43,000										
②入院患者数	83,085	80,181	78,792	75,566	76,120	80,000	内科常勤医師5名 1名あたり約10,000人(回復期病棟を含む)。救急応需率向上のため、50%程度を見込む。									
うち要望診療科関係	58,540	58,077	57,869	56,119	56,333	60,000										
③救急搬送件数	1,635	1,533	1,664	1,387	1,605	1,750	DPCデータ:「疾患別患者数」の内科疾患の患者数割合を③救急搬送件数に乗じて算出(R5年度ベース)									
うち要望診療科関係	287	274	252	232	310	460	④要望診療科のうち、150件程度の受入が可能となる見込み。									
④救急お断り件数	694	1,038	1,893	1,685	1,475	1,300	③救急搬送件数の要望診療科割合を④お断り件数に乘じ、③の増数見込み分程度を目安として差し引いて算出。									
うち要望診療科関係	122	185	287	281	315	160										
⑤手術件数	690	599	545	478	510											
うち要望診療科関係																
⑥医師1人あたり時間外労働時間	32	32	32	32	32											
うち要望診療科関係	32	32	32	32	32											
⑦()																
⑧その他、診療体制等	高齢者の救急や入院が年々増加しており、合併症を有しているため、幅広い症例に対応できる内科医に加わっていただくことは、地域の救急医療体制の強化につながると考えております。															
k.自院での医師確保の取組状況 ※該当に○	①HPやハローワークへの求人広告掲出			○	経過・現状等											
	②派遣元大学医局への派遣依頼			○		従前に派遣元であった大学を中心に要請を続けているが、派遣には至っていない。										
	③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ			○												
	④その他			○		医師紹介会社の活用。										
l.看護師等、医師以外の医療従事者の充足状況、増員計画	・夜勤可の看護師に一部不足するため併設看護専門学校のみならず他方面からの採用を強化している。また、医師の負担軽減に資するため医師事務作業補助者の配置あり。															
m.手術室、ICU、CT・MRI等のハード設備等の診療環境の現状、今後の整備計画	・手術室整備(バイオクリーンルームあり・専従スタッフあり)。CT(64列)。MRI(1.5T)。内視鏡検査室、透視検査室あり(専従スタッフあり)															
n.他の診療科との連携体制	内科系および外科系での連携は密に行っている。整形外科等は入院時より内科によるコンサルトを行うことにより、複数主治医制を採用しております。															
o.宿日直許可の取得状況 ※該当に○	取得済	○	取得日			2024/2/9										
	取得予定		取得予定日及び進捗状況													
	取得予定なし		理由等													
p.特定労務管理対象機関の指定予定 ※該当に○	なし(A水準)		○		申請の準備・進捗状況 ※該当に○及び日付等を記載 [A水準以外]	【共通】医師の労働時間短縮計画作成			【共通】評価センターの評価受審			【C-1の場合】 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 【C-2の場合】 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査				
	特定地域医療提供機関(B水準)															
	連携型特定地域医療提供機関(連携B水準)					作成済		作成日		申請済					申請日	
	技能向上集中研修機関(C-1水準)					作成中		完成予定時期		申請準備中					申請予定時期	
	特定高度技能研修機関(C-2水準)															
q.生活環境 ※該当に○	宿舍の有無	専用宿舍(敷地内)	○		宿舍の月額、 単身/世帯用の別、 入居可能室数 等	宿舍は実質負担なしにて利用可				その他の生活環境 支援						
		専用宿舍(敷地外)														
		借上宿舍														
		住宅手当														
		その他														
		なし														
r.子育て支援 ※該当に○	院内保育所	あり			病児保育体制等 ※該当に○	院内保育所対応				その他の子育て支援	時短勤務可 当直等への配慮					
		系列保育園	○			ベビーシッター等利用料の補助		○								
		その他				その他										
		なし				なし										
s.その他の福利厚生	医療費返還/療養休暇制度/職員食堂あり。女性医師が安心して勤務できるように休憩室、更衣室、シャワー室、当直室の整備あり。															
t.派遣医師の待遇(常勤)	役職	資格等		年収		就業時間		当直		オンコール	勤務日数	休日	備考			
	(例) 消化器内科部長	消化器内視鏡指導医		1,500万円(手当含む)		8:30～17:00		有 2回/月		有 2回/週	週5日	日曜/祝日	赴任手当、住居手当、学会参加費 等			
u.派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日	勤務形態		勤務時間		勤務内容			給与		交通費	備考				
	(例) 月、水、金	日勤(終日)		9:00～17:00		外来、病棟管理			100,000円/回		別途支給	週2～3日の勤務希望、分割(AM・PM)勤務可				
v.自由記載	・タイムカードによる出退勤管理により、月の業務時間を把握できる体制。 R4度より院内に産業医トレーニングセンターを設置。産業医(産業衛生専門医)と密に情報交換が可能。社会医学系専門医プログラム基幹施設。専攻医在籍。															

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票 (個票②) 【派遣要望内容】

色付きのセルに入力してください。

a.要望医療機関名	白十字総合病院				担当者	所属 氏名	企画課 池宮 毅	連絡先	電話 Mail							
b.派遣を求める診療科	整形外科		R7.4.1時点の医師数 (人) ※非常勤は、常勤換算の人数とすること	常勤	1	自院での採用 (人)		1								
				非常勤	1.1	大学等からの派遣 (人)			派遣元の内訳							
							派遣元の内訳									
c.派遣要望人数 ※非常勤は、常勤換算の人数とすること	常勤	1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○	専攻医クラス		派遣医師に求める 資格、技術等	救急対応 (二次救急)、三次救急医療機関等の迅速な判断、病棟管理、手術、外来診療									
				専門医クラス												
	非常勤				指導医クラス											
d.要望の主な目的 ※該当に○	減員補充		具体的な要望理由、 派遣の必要性	鹿行地域では救急搬送要請に対して、管外搬送が40%を超えており、管内での受入強化、収容率向上が強く望まれております。当院は鹿島臨海工業地帯に立地しており、労働災害や交通外傷も多い地域ですが、救急搬送要請に対しては医師不足の理由から、緊急手術が想定される症例についてはやむを得ず不応需となるケースが多い状況です。また、高齢者の転倒などによる救急要請 (骨折症例) も増加しておりますが、常勤医師1名という体制のため、手術や処置中などの理由で不応需となるケースも多い状況です。管内での受入強化、収容率向上を実現するためにも整形外科常勤医の体制強化が必要です。												
	体制強化	○														
	拠点形成															
	その他															
e.要望人数の根拠	常勤医2名体制となることで、救急受入や手術対応などを柔軟に行うことが可能となるため、救急搬送要請に対して管内での受入強化、収容率向上を図ることができます。															
f.前年度の地对協・大学からの意見に対する対応状況等 ※前年度、地对協から大学等へ派遣要請を行ったものの、結果的に配置が実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載	前年度派遣要請の有無 ※該当に○		前年度の地对協・大学からの意見													
			上記意見に対する対応状況等													
g.専門研修の可否 ※内科・外科はサブスベ領域まで研修可能な場合にのみ「可」に○	可 (基幹施設)		主な連携施設名													
	可 (連携施設)		基幹施設名													
	可 (関連施設)		基幹施設名													
	不可	○	今後の予定	プログラムを作成中	○	備考										
				指導医を確保・養成中												
プログラムの作成予定なし																
h.取得可能な資格	診療科の専門性とは異なるが、当院では健診部門の充実を図ると共に、専門的産業医養成プログラムを有しており、神栖市においては週末集中で産業医研修会が行われている。当院派遣期間中に資格取得可能である。															
i.派遣医師の具体的な業務	・救急車対応、一般外来業務、入院患者主治医、手術対応、全科当直。常勤医師1名体制という観点から、指導医レベルの派遣を期待しているものです。															
j.医師派遣による効果	・救急車収容率の向上について、医師派遣により日勤、夜勤帯とも収容率が向上し鹿行地域住民また救急搬送時間の短縮に対しての恩恵がある。 ・今般の派遣要請の最大の目的が救急車収容率の向上である。d.「要望理由」で記した状況に対し整形外科医師の派遣による救急搬送受け入れの拡大ができると考えている。救急要請不応需の主たる要因は医師体制不足のためであり、医師派遣によりこうした状況の改善が図れるものと考える。当地域においては、休日・夜間に初期救急に対応する開業医不足もあるため、やむを得ず軽症患者が二次救急医療機関を直接受診する傾向もある、また 高齢化に伴う救急搬送の増加等により、三次救急医療機関をはじめとした高次の医療機関への搬送増加が懸念される中で、救急体制強化が必須と考える。(施行MC管外・県外への軽症搬送数1620件 (R6) の解消)															
	R2	R3	R4	R5	R6	派遣後の見込	左の根拠									
①外来患者数	136,408	132,776	133,233	131,871	133,483	138,000	整形外科医師数 (常勤・非常勤) より算出。									
うち要望診療科関係	14,880	13,823	13,458	12,695	13,172	18,000										
②入院患者数	83,085	80,181	78,792	75,566	76,120	82,000	整形外科常勤医1名あたり約6,500人 (回復期病棟含む)。									
うち要望診療科関係	8,693	7,428	7,216	6,676	6,604	13,000										
③救急搬送件数	1,635	1,533	1,664	1,387	1,605	1,700	DPCデータ：「疾患別患者数」の整形外科疾患の患者数割合を③救急搬送件数に乗じて算出 (R5年度ベース)。									
うち要望診療科関係	179	176	153	83	149	250										
④救急お断り件数	694	1,038	1,893	1,685	1,475	1,370	③救急搬送件数の要望診療科割合を④お断り件数に乘以、③の増数見込み分程度を目安として差し引いて算出。									
うち要望診療科関係	76	119	174	101	132	30										
⑤手術件数	690	599	545	478	510	610	要望診療科実績 (R4～R6) の平均件数より算出。									
うち要望診療科関係	141	131	112	97	119	220										
⑥医師1人あたり時間外労働時間	32	32	32	32	32											
うち要望診療科関係	32	32	32	32	32											
⑦ ()																
⑧その他、診療体制等	高齢者の救急や入院が年々増加しております。整形外科医の増員は、地域の救急医療体制の強化につながると考えております。															
k.自院での医師確保の取組状況 ※該当に○	①HPやハローワークへの求人広告掲出			○	経過・現状等											
	②派遣元大学医局への派遣依頼			○		従前に派遣元であった大学を中心に要請を続けているが、派遣には至っていない。										
	③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ			○												
	④その他			○		医師紹介会社の活用。										
l.看護師等、医師以外の医療従事者の充足状況、増員計画	・夜勤可の看護師に一部不足するため併設看護専門学校のみならず他方面からの採用を強化している。また、医師の負担軽減に資するため医師事務作業補助者の配置あり。															
m.手術室、ICU、CT・MRI等のハード設備等の診療環境の現状、今後の整備計画	・手術室整備 (バイオクリーンルームあり・専従スタッフあり)。CT (64列)。MRI (1.5T)。内視鏡検査室、透視検査室あり (専従スタッフあり)															
n.他の診療科との連携体制	・整形外科等は入院時より内科医師によるコンサルトを行うことにより、複数主治医制を採用しております。															
o.宿日直許可の取得状況 ※該当に○	取得済	○	取得日			2024/2/9										
	取得予定		取得予定日及び進捗状況													
	取得予定なし		理由等													
p.特定労務管理対象機関の指定予定 ※該当に○	なし (A水準)			○	申請の準備・進捗状況 ※該当に○及び日付等を記載 [A水準以外]	[共通] 医師の労働時間短縮計画作成			[共通] 評価センターの評価受審			[C-1の場合] 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 [C-2の場合] 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査				
	特定地域医療提供機関 (B水準)															
	連携型特定地域医療提供機関 (連携B水準)					作成済		作成日		申請済					申請日	
	技能向上集中研修機関 (C-1水準)					作成中		完成予定時期		申請準備中					申請予定時期	
	特定高度技能研修機関 (C-2水準)															
q.生活環境 ※該当に○	宿舎の有無	専用宿舎 (敷地内)	○	宿舎の月額、 单身／世帯用の別、 入居可能室数 等	宿舎は実質負担なしにて利用可			その他の生活環境 支援								
		専用宿舎 (敷地外)														
		借上宿舎														
		住宅手当														
		その他														
		なし														
r.子育て支援 ※該当に○	院内保育所	あり		病児保育体制等 ※該当に○	院内保育所対応			その他の子育て支援	時短勤務可 当直等への配慮							
		系列保育園	○		ベビーシッター等利用料の補助		○									
		その他			その他											
		なし			なし											
s.その他の福利厚生	医療費返還/療養休暇制度/職員食堂あり。女性医師が安心して勤務できるように休憩室、更衣室、シャワー室、当直室の整備あり。															
t.派遣医師の待遇 (常勤)	役職	資格等	年収	就業時間	当直	オンコール	勤務日数	休日	備考							
	(例) 消化器内科部長	消化器内視鏡指導医	1,500万円 (手当含む)	8:30～17:00	有 2回/月	有 2回/週	週5日	日曜/祝日	赴任手当、住居手当、学会参加費 等							
u.派遣医師の待遇 (非常勤)	勤務曜日	勤務形態	勤務時間	勤務内容			給与	交通費	備考							
	(例) 月、水、金	日勤 (終日)	9:00～17:00	外来、病棟管理			100,000円/回	別途支給	週2～3日の勤務希望、分割 (AM・PM) 勤務可							
v.自由記載	・タイムカードによる出退勤管理により、月の業務時間を把握できる体制。 ・R4度より院内に産業医トレーニングセンターを設置。産業医 (産業衛生専門医) と密に情報交換が可能。社会医学系専門医プログラム基幹施設。専攻医在籍。															

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票 (個票②) 【派遣要望内容】

色付きのセルに入力してください。

a.要望医療機関名	神栖済生会病院				担当者	所属	総務課		連絡先	電話							
b.派遣を求める診療科	腎臓内科		R7.4.1時点の医師数 (人) ※非常勤は、常勤換算の人数とすること	常勤	0	自院での採用 (人)											
				非常勤	0.7	大学等からの派遣 (人)			派遣元の内訳								
c.派遣要望人数 ※非常勤は、常勤換算の人数とすること	常勤	1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○	専攻医クラス		派遣医師に求める 資格、技術等	日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医 等										
		専門医クラス		○													
	非常勤	0			指導医クラス												
d.要望の主な目的 ※該当に○	減員補充		具体的な要望理由、 派遣の必要性	慢性腎臓病は、「新しい国民病」とも呼ばれるほど患者数が増加しており、約1300万人いると推定されている。また、腎臓病の合併症である高血圧症や糖尿病は患者数が多いだけでなく、有病年齢層は幅広く、心血管疾患合併症をはじめとした複数の診療領域が必要となる生活習慣病である。施行医療圏の広い地理的状況を踏まえ、他病院と役割分担と相互補完を行いつつ患者の受入を行っていく必要がある。また、市町村での糖尿病性腎症重症化予防事業も開始され、必要性がさらに増している診療域である。このため、当院においても外来診療や人工透析にさらに尽力し、受け入れ促進を図るため、常勤の腎臓内科医の配置が必要である。													
体制強化	○																
拠点形成																	
その他																	
e.要望人数の根拠	現状、一般内科及び糖尿病専門医の診療において糖尿病や高血圧等の診療にあっているが、必要に応じて腎臓内科医への診療を依頼している。しかし、非常勤医師2名 (常勤換算0.7名) で対応しているため、入院対応不可、緊急的対応困難な状態であることから、体制強化のため、常勤1名の派遣を要望。																
f.前年度の地対協・大学からの意見に対する対応状況等 ※前年度、地対協から大学等へ派遣要請を行ったものの、結果的に配置が実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載	前年度派遣要請の有無 ※該当に○	○	前年度の地対協・大学からの意見	・教育研修体制が確立されている病院に配置すべきである。また、医療圏として不足している医師数が不明である。 ・非常勤のみでは不足でしょうか。 ・専門医・指導医派遣を要求しており、派遣元の状況や他地域の要望との調整が必要であると考える。													
			上記意見に対する対応状況等	腎臓内科領域の需要は高く、透析を必要とする患者も増加しており、現状の非常勤のみの体制では対応困難な状況である。市町村では、糖尿病性腎症重症化予防事業も開始され、地域でも重要性が高まっている診療域であることから、引き続き要望するものである。													
g.専門研修の可否 ※内科・外科はサブスペ領域まで研修可能な場合にのみ「可」に○	可 (基幹施設)		主な連携施設名														
	可 (連携施設)		基幹施設名														
	可 (関連施設)		基幹施設名														
	不可	○	今後の予定	プログラムを作成中			備考										
				指導医を確保・養成中													
プログラムの作成予定なし				○													
h.取得可能な資格																	
i.派遣医師の具体的な業務	救急診療、入院診療、外来診療 等																
j.医師派遣による効果	常勤医師の配置により、下記の点での効果が期待できる。 ・入院での急性期治療の実施 ・外来患者数の増大 ・当該疾患の域外への救急搬送件数の改善 ・クリニックで受入困難な合併症を伴う人工透析患者への対応 ・シャント増設術への対応 ・市町村が課題として実施している糖尿病性腎症重症化予防事業への初期対応の拡大																
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	派遣後の見込	左の根拠										
①外来患者数	117,750	125,230	134,155	130,068	116,213	124,020											
うち要望診療科関係	3,558	3,169	2,828	2,502	3,338	4,960											
②入院患者数	35,632	36,078	33,339	31,827	26,188	25,185											
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0	730											
③救急搬送件数	1,523	1,978	2,346	2,482	2,061	2,400	うち要望診療科関係の数値は、当院の統計上内科で集約しているため、内科全体の数値になります。										
うち要望診療科関係	771	1,144	984	1,009	908	1,056											
④救急お断り件数	502	506	940	784	839	800	うち要望診療科関係の数値は、当院の統計上内科で集約しているため、内科全体の数値になります。										
うち要望診療科関係	231	342	372	286	367	352											
⑤手術件数	1,032	1,280	1,395	1,303	1,216	1,300	シャント増設術										
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0	20											
⑥医師1人あたり時間外労働時間	12.6	13.1	14.1	16.5	7.6	7											
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0	0											
⑦ ()																	
⑧その他、診療体制等																	
k.自院での医師確保の取組状況 ※該当に○	①HPやハローワークへの求人広告掲出			○	経過・ 現状等	医師紹介会社に求人広告を依頼するも、進展なし。											
	②派遣元大学医局への派遣依頼			○		非常勤の派遣のみとなっており、これ以上は、困難な状況。											
	③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ			○		自院医師に積極的に依頼するも、進展なし。											
	④その他																
l.看護師等、医師以外の医療従事者の充足状況、増員計画	看護師不足が常態化しているが、令和7年4月には16名の看護師を採用した。次年度以降も、10名程度の看護師採用を予定している状況である。																
m.手術室、ICU、CT・MRI等のハード設備等の診療環境の現状、今後の整備計画	新棟建設に向けて、手術室の拡充を検討しており、クリーンルームや最新の手術機器が整った環境の中で、検査、手術等を行うことが可能となる。消化器疾患については、悪性腫瘍を含めた検査から治療 (内視鏡治療、低侵襲手術) まで幅広く診療できるよう超音波内視鏡の設置、自動麻酔器の新規導入等を行うなどして、診療環境整備に努めている。今後も、医師確保に伴って機器整備などの環境整備を進める予定。																
n.他の診療科との連携体制	内分泌内科医等と連携し、糖尿病等患者への初期アプローチが迅速に行われ、疾病の悪化を未然に防ぐことが可能となる。																
o.宿日直許可の取得状況 ※該当に○	取得済	○	取得日		令和5年8月29日												
	取得予定		取得予定日及び進捗状況														
	取得予定なし		理由等														
p.特定労務管理対象機関の指定予定 ※該当に○	なし (A水準)			○	申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付 等を記載 [A水準以外]	【共通】医師の労働時間短縮計画作成			【共通】評価センターの評価受審			[C-1の場合] 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 [C-2の場合] 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査					
	特定地域医療提供機関 (B水準)																
	連携型特定地域医療提供機関 (連携B水準)					作成済			作成日		申請済					申請日	
	技能向上集中研修機関 (C-1水準)					作成中			完成予定 時期		申請 準備中					申請予定 時期	
	特定高度技能研修機関 (C-2水準)										申請予定					申請予定 時期	
q.生活環境 ※該当に○	宿舍の有無	専用宿舍 (敷地内)			宿舍の月額 単身/世帯用の別、 入居可能室数 等	借上住宅使用料:月額 30,000円 (光熱水費込)			その他の 生活環境 支援								
		専用宿舍 (敷地外)				入居可能室数:7部屋											
		借上宿舍		○		住宅手当 (賃貸の場合): 上限65,000円											
		住宅手当		○													
		その他															
		なし															
r.子育て支援 ※該当に○	院内保育所	あり		○	病児保育体制等 ※該当に○	院内保育所に対応		○	その他の 子育て支 援	育時休業制度 (1歳未満の子) 育児短時間勤務制度 (3歳まで)							
		系列保育園				ベビーシッター等利用料の補助											
		その他				その他											
		なし				なし											
s.その他の福利厚生	医療費還付制度、慶弔見舞金制度																
t.派遣医師の待遇 (常勤)	役職	資格等		年収		就業時間		当直		オンコール	勤務日数	休日	備考				
	(例) 消化器内科部長	消化器内視鏡指導医		1,500万円 (手当含む)		8:30～17:00		有 2回/月		有 2回/週	週5日	日曜/祝日	赴任手当、住居手当、学会参加費 等				
u.派遣医師の待遇 (非常勤)	勤務曜日	勤務形態		勤務時間		勤務内容			給与		交通費		備考				
	(例) 月、水、金	日勤 (終日)		9:00～17:00		外来、病棟管理			100,000円/回		別途支給		週2～3日の勤務希望、分割 (AM・PM) 勤務可				
v.自由記載																	

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票 (個票②)【派遣要望内容】

色付きのセルに入力してください。

a.要望医療機関名	神栖済生会病院				担当者	所属	総務課		連絡先	電話						
						氏名	宮内 隆史			Mail						
b.派遣を求める診療科	呼吸器内科		R7.4.1時点の医師数 (人) ※非常勤は、常勤換算の人数とすること	常勤	0	自院での採用 (人)			派遣元の内訳							
				非常勤	0.5	大学等からの派遣 (人)										
						派遣元の内訳		筑波大学 0.3、日本医科大学 0.2								
c.派遣要望人数 ※非常勤は、常勤換算の人数とすること	常勤	1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○		専攻医クラス		派遣医師に求める 資格、技術等		日本呼吸器学会専門医 等							
		専門医クラス			○											
	非常勤	0				指導医クラス										
d.要望の主な目的 ※該当に○	減員補充		具体的な要望理由、 派遣の必要性		鹿行医療圏での喫煙率も非常に高い状況である。令和6年茨城県市町村別健康指標 (2018～2022) によると、肺炎や肺がん、慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器疾患による標準化死亡比は、全国平均 (1.0) に対し茨城及び鹿行医療圏は高い。特に神栖市は顕著であり、肺炎:男性1.36/女性1.79、肺がん:男性1.18/女性1.15、そして慢性閉塞性肺疾患:男性1.42といずれも全国平均を上回っている。患者受診の経緯は、近隣クリニック紹介や健診異常が主であり、健診異常による受診率が比較的高い傾向にある。また当院は企業との提携、結核患者管理検診及び結核患者接触者健康診断業務なども受託しており、呼吸器内科への需要は非常に高いが、現状の非常勤医師2名 (常勤換算0.5名) の診療体制では限界がみられる。院内での検査体制は十分とは言えず、気管支鏡検査については、隣県を含めて基幹病院、大学病院等に紹介している状況である。鹿行医療圏の広い地理的状況を踏まえ、県内での相互補完を行いつつ患者の受入を行っていくためには、常勤の呼吸器内科医が必要であるため要望する。											
	体制強化	○														
	拠点形成															
	その他															
e.要望人数の根拠	現状、非常勤医師2名 (常勤換算0.5名) で対応しているため、外来診療が中心となっている。常勤医師の派遣により、検査及び治療の充実、呼吸器疾患による急性増悪等の救急受入など、診療拡大を図ることが可能となるため、常勤1名の派遣を要望。															
f.前年度の地対協・大学からの意見に対する対応状況等 ※前年度、地対協から大学等へ派遣 要請を行ったものの、結果的に配置が 実現しなかったものを再度要望する場 合にのみ記載	前年度派遣要 請の有無 ※該当に○	○	前年度の地対協・大学 からの意見	・教育研修体制が確立されている病院に配置すべきである。また、医療圏として不足している医師数が不明である。 ・政策医療 (救急医療) での派遣ということで考えると妥当性がないように思う。常勤医師1名で救急診療を行うことは難しいのではないか。												
			上記意見に対する 対応状況等	呼吸器内科領域の需要は高く、現状の非常勤のみの体制では対応困難な状況である。政策医療 (救急医療) においても、域外搬送を防ぐ目的から要望は妥当であり、常勤医師1名でも、非常勤医との連携により、救急診療を行うことは可能である。												
g.専門研修の可否 ※内科・外科はサブスベ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に○	可 (基幹施設)			主な連携施設名												
	可 (連携施設)			基幹施設名												
	可 (関連施設)			基幹施設名												
	不可		○	今後の予定	プログラムを作成中			備考								
					指導医を確保・養成中											
プログラムの作成予定なし					○											
h.取得可能な資格																
i.派遣医師の具体的な業務	救急診療、入院診療、外来診療 等															
j.医師派遣による効果	常勤医師の配置により、下記の点での効果が期待できる。 ・入院での急性期治療の実施 ・外来患者数の増大 ・当該疾患の域外への救急搬送件数の改善 ・がん診断及び治療 (化学療法の実施) ・気管支鏡検査等が可能となり、検査体制の改善															
	R2	R3	R4	R5	R6	派遣後の見込	左の根拠									
①外来患者数	117,750	125,230	134,155	130,068	116,213	124,020										
うち要望診療科関係	2,473	2,413	2,303	2,639	2,540	3,720										
②入院患者数	35,632	36,078	33,339	31,827	26,188	25,185										
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0	1,095										
③救急搬送件数	1,523	1,978	2,346	2,482	2,061	2,400	うち要望診療科関係の数値は、当院の統計上内科で集約しているため、内科全体の数値になります。									
うち要望診療科関係	771	1,144	984	1,009	908	1,056										
④救急お断り件数	502	506	940	784	839	800	うち要望診療科関係の数値は、当院の統計上内科で集約しているため、内科全体の数値になります。									
うち要望診療科関係	231	342	372	286	367	352										
⑤手術件数	1,032	1,280	1,395	1,303	1,216	1,300										
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0	0										
⑥医師1人あたり時間外労働時間	12.6	13.1	14.1	16.5	7.6	7										
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0	0										
⑦ ()																
⑧その他、診療体制等																
k.自院での医師確保の取組状況 ※該当に○	①HPやハローワークへの求人広告掲出			○	経過・ 現状等	医師紹介会社に求人広告を依頼するも、進展なし。										
	②派遣元大学医局への派遣依頼			○		非常勤の派遣のみとなっており、これ以上は、困難な状況。										
	③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ			○		自院医師に積極的に依頼するも、進展なし。										
	④その他															
l.看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画	看護師不足が常態化しているが、令和7年4月には16名の看護師を採用した。次年度以降も、10名程度の看護師採用を予定している状況である。															
m.手術室、ICU、CT・MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備 計画	新棟建設に向けて、手術室の拡充を検討しており、クリーンルームや最新の手術機器が整った環境の中で、検査、手術等を行うことが可能となる。医療機器については、更新や新規導入等を行うなどして、診療環境整備に努めている。今後も、医師確保に伴って機器整備などの環境整備を進める予定。															
n.他の診療科との連携体制	他の内科医等と連携し、初期アプローチが迅速に行われ、疾病の悪化を未然に防ぐことが可能となる。															
o.宿日直許可の取得状況 ※該当に○	取得済	○	取得日		令和5年8月29日											
	取得予定		取得予定日及び進捗状況													
	取得予定なし		理由等													
p.特定労務管理対象機関の指定予定 ※該当に○	なし (A水準)			○	申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付 等を記載 [A水準以外]	【共通】医師の労働時間短縮計画作成			【共通】評価センターの評価受審			【C-1の場合】 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 【C-2の場合】 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査				
	特定地域医療提供機関 (B水準)															
	連携型特定地域医療提供機関 (連携B水準)					作成済		作成日		申請済					申請日	
	技能向上集中研修機関 (C-1水準)					作成中		完成予定 時期		申請 準備中					申請予定 時期	
	特定高度技能研修機関 (C-2水準)															
q.生活環境 ※該当に○	宿舎の有無	専用宿舎 (敷地内)		宿舎の月額、 単身/世帯用の別、 入居可能室数 等	借上住宅使用料:月額 30,000円 (光熱水費込)			その他の 生活環境 支援								
		専用宿舎 (敷地外)			入居可能室数:7部屋											
		借上宿舎	○		住宅手当 (賃貸の場合): 上限65,000円											
		住宅手当	○													
		その他														
		なし														
r.子育て支援 ※該当に○	院内保育所	あり	○	病児保育体制等 ※該当に○	院内保育所対応		○	その他の 子育て支 援	育時休業制度 (1歳未満の子) 育児短時間勤務制度 (3歳まで)							
		系列保育園			ベビーシッター等利用料の補助											
		その他			その他											
		なし			なし											
s.その他の福利厚生	医療費還付制度、慶弔見舞金制度															
t.派遣医師の待遇 (常勤)	役職	資格等	年収	就業時間	当直	オンコール	勤務日数	休日	備考							
	(例) 消化器内科部長	消化器内視鏡指導医	1,500万円 (手当含む)	8:30～17:00	有 2回/月	有 2回/週	週5日	日曜/祝日	赴任手当、住居手当、学会参加費 等							
u.派遣医師の待遇 (非常勤)	勤務曜日	勤務形態	勤務時間	勤務内容			給与	交通費	備考							
	(例) 月、水、金	日勤 (終日)	9:00～17:00	外来、病棟管理			100,000円/回	別途支給	週2～3日の勤務希望、分割 (AM・PM) 勤務可							
v.自由記載																

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票 (個票②)【派遣要望内容】

色付きのセルに入力してください。

a.要望医療機関名		小山記念病院				担当者		所属		本部事務局		連絡先		電話											
						氏名		花香 淳一				Mail													
b.派遣を求める診療科		腎臓内科		R7.4.1時点の医師数(人) ※非常勤は、常勤換算の人数とすること		常勤		3		自院での採用(人)		0		派遣元の内訳				日本医科大学							
						非常勤		0.6		派遣元の内訳															
c.派遣要望人数 ※非常勤は、常勤換算の人数とすること		常勤		2.0		希望する医師のクラス等 ※該当に○		専攻医クラス		1		派遣医師に求める 資格、技術等		特になし											
		非常勤		0				専門医クラス																	
d.要望の主な目的 ※該当に○		減員補充				具体的な要望理由、 派遣の必要性		現在の体制を将来も継続していくための、安定的な人員確保が必要であるため。 (今年度の要望による派遣が叶わないとしても、状況が整った際に筑波大学からの派遣をいただけると助かります。)																	
		体制強化		○																					
		拠点形成																							
		その他																							
e.要望人数の根拠		現在の透析患者数や腎臓内科の外来患者・入院患者数を維持・継続するための人員数を勘案して算出した。																							
f.前年度の地対協・大学からの意見 に対する対応状況等 ※前年度、地対協から大学等へ派遣 要請を行ったものの、結果的に配置が 実現しなかったものを再度要望する場 合にのみ記載		前年度派遣要 請の有無 ※該当に○				前年度の地対協・大学 からの意見																			
						上記意見に対する 対応状況等																			
g.専門研修の可否 ※内科・外科はサブスベ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に○		可(基幹施設)				主な連携施設名																			
		可(連携施設)				基幹施設名																			
		可(関連施設)				基幹施設名																			
		不可		○		今後の予定		プログラムを作成中				備考													
						指導医を確保・養成中																			
								プログラムの作成予定なし																	
h.取得可能な資格		なし																							
i.派遣医師の具体的な業務		・透析センターでの透析患者管理 ・腎臓内科外来での診療と入院管理																							
j.医師派遣による効果		透析患者の増加に伴い、月・水・金は1日あたり3クルールの稼働をしている。 火・木・土も同様に3クルールの稼働を目指したいが、医師数の問題で2クルールの稼働に留まっている。 また、透析センター業務の比重が大きく、腎臓内科疾患患者の急患受け入れが困難であることが多い。 医師の増員等により、透析患者の受け入れ強化並びに 救急患者の受け入れの強化に繋がるものと考えている。																							
		R2		R3		R4		R5		R6		派遣後の見込		左の根拠											
①外来患者数		233,896		246,215		251,359		255,590		254,271				透析患者受け入れの増加によるもの											
うち要望診療科関係		30,663		32,250		32,266		31,993		32,140		34,000													
②入院患者数		5,783		5,964		5,093		5,602		6,164				腎臓内科疾患の救急患者受け入れが可能となるため											
うち要望診療科関係		66		86		68		62		73		100													
③救急搬送件数		2,308		2,785		2,373		3,414		3,615															
うち要望診療科関係																									
④救急お断り件数																									
うち要望診療科関係																									
⑤手術件数		2,738		2,852		2,671		2,735		2,933															
うち要望診療科関係																									
⑥医師1人あたり時間外労働時間		3		3		3		3		3		3		時間外労働はほぼない。											
うち要望診療科関係																									
⑦()																									
⑧その他、診療体制等																									
k.自院での医師確保の取組状況 ※該当に○		①HPやハローワークへの求人広告掲出				○		経過・ 現状等		当院が希望する診療が実施可能な医師絶対数の不足により、オファー自体がない															
		②派遣元大学医局への派遣依頼				○				現状以上の医師派遣は困難との回答															
		③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ																							
		④その他																							
l.看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画		看護師、薬剤師、臨床工学技士、臨床検査技師、管理栄養士の各職種が各領域で十分な対応を既に実施している。 正看護師204名、助産師21名の他、医療技術職員は150名程度在籍しております。 また、医師事務作業補助者も15名雇用しており、医師の働き方改革やタスクシフトへの取り組みを充実させております。																							
m.手術室、ICU、CT・MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備 計画		手術室は5部屋あり、麻酔科常勤医が5名在籍しているため、24時間365日の手術対応が可能である。加算の算定はしていないものの、脳神経外科病棟にはHCUが整備されており、常時重症患者の収容が可能である。 CT装置は2台。MRIは3台完備しており、Angio装置も2台稼働している。																							
n.他の診療科との連携体制		診療上、関係の深い診療科との連携は時間を問わずシステム化されている。(ホットライン体制の実績により検証済み)																							
o.宿日直許可の取得状況 ※該当に○		取得済				取得日																			
		取得予定				取得予定日及び進捗状況																			
		取得予定なし		○		理由等																			
p.特定労務管理対象機関の指定予定 ※該当に○		なし(A水準)				○		申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付 等を記載 [A水準以外]		【共通】医師の労働時間短縮計画作成				【共通】評価センターの評価受審				[C-1の場合] 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 [C-2の場合] 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査							
		特定地域医療提供機関(B水準)																							
		技能向上集中研修機関(C-1水準)								作成済		○		作成日		2023/4/1		申請済				申請日			
		特定高度技能研修機関(C-2水準)								作成中				完成予定 時期				申請 準備中		申請予定 時期				申請予定 時期	
q.生活環境 ※該当に○		宿舍の有無		専用宿舍(敷地内)				宿舍の月額、 単身／世帯用の別、 入居可能室数 等						その他の 生活環境 支援		専任の社宅担当者が居るため、 関連するトラブルや手続きは全て当該職員が代行しています。									
				専用宿舍(敷地外)		○				実質負担なし、単身／世帯用の双方あり															
				借上宿舍																					
				住宅手当																					
				その他																					
				なし																					
r.子育て支援 ※該当に○		院内保育所		あり				病児保育体制等 ※該当に○		院内保育所に対応				その他の 子育て支援		子の看護休暇制度あり。 また、小学校から学童保育への移動に係るタクシーを手配しています。									
				系列保育園		○				ベビーシッター等利用料の補助															
				その他						その他															
				なし						なし		○													
s.その他の福利厚生		・医療費減免制度 ・学会費支給 年2回まで全額補助 ※年3回目から参加費及び、交通費10,000円のみ支給																							
t.派遣医師の待遇(常勤)		役職		資格等		年収		就業時間		当直		オンコール		勤務日数		休日		備考							
		(例) 消化器内科部長		消化器内視鏡指導医		1,500万円(手当含む)		8:30～17:00		有 2回/月		有 2回/週		週5日		日曜/祝日		赴任手当、住居手当、学会参加費 等							
u.派遣医師の待遇(非常勤)		勤務曜日		勤務形態		勤務時間		勤務内容				給与		交通費		備考									
		(例) 月、水、金		日勤(終日)		9:00～17:00		外来、病棟管理				100,000円/回		別途支給		週2～3日の勤務希望、分割(AM・PM)勤務可									
v.自由記載		医師全員がタイムカードによる打刻を実施しており、専用のシステムで毎月の業務時間を把握出来る体制を取っております。 業務時間が長い医師に対しては、幹部医師が直接ヒアリングし、問題点の解決に早期に取り組むよう努めています。 夜間当直は非常勤医師が90%以上担当する等、常勤医の業務負担軽減に取り組んでいます。 救急専門医(常勤)を2名採用し、救急初期対応の負担軽減に取り組んでいます。 初期研修医、後期研修医に対しては、病院幹部による定期的な面談を実施し、適切な研修へのサポートをしています。																							

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票 (個票②)【派遣要望内容】

色付きのセルに入力してください。

a.要望医療機関名				鹿嶋ハートクリニック			担当者		所属 氏名		事業推進課 高宮 椰弘		連絡先		電話 Mail												
b.派遣を求める診療科				循環器内科		R7.4.1時点の医師数 (人) ※非常勤は、常勤換算の人数とすること		常勤		6		自院での採用 (人)		6													
								非常勤		1.8		派遣元からの派遣 (人)		派遣元の内訳													
c.派遣要望人数 ※非常勤は、常勤換算の人数とすること				常勤		1.0		希望する医師のクラス等 ※該当に○		専攻医クラス		○		派遣医師に求める 資格、技術等													
				非常勤		0				専門医クラス		○								指導医クラス		○					
d.要望の主な目的 ※該当に○				減員補充				具体的な要望理由、 派遣の必要性		現在、全国的にいわゆる「心不全バンデミック」とも言われる状況が進行しており、鹿行地域においても循環器疾患の増加に対する対応が地域医療体制の大きな課題となっています。とりわけ、当該地域では循環器疾患の重症患者に対応できる医療資源が限られており、域外への搬送が常態化しています。 当院は2024年11月に病院機能を拡充し、ハイブリッド手術室を2室体制としましたが、医師体制が整わず救急手術を十分に受け入れることができない状況が続いています。このため、緊急性の高い疾患 (例:急性大動脈解離等) に対して迅速な治療が行えず、患者の搬送中に救命の機会を逸する事例も発生しています。 こうした背景を踏まえ、地域における循環器疾患の拠点病院として機能を強化し、患者を域内で確実に受け入れる体制を構築することを目的として、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科の医師派遣を要望いたします。																	
				体制強化		○																					
				拠点形成																							
				その他																							
e.要望人数の根拠				以下のとおり、当院での対応可能症例の拡大および24時間救急対応体制の確立には、常勤医師の確保が必要不可欠と考えています。 ・循環器内科医:常勤1名 (ICD、CRT等のデバイス治療、Watchman導入等の専門性強化に対応) 現状、緊急性の高い手術や高度な循環器治療を担う常勤医が不足しており、複数の診療科において対応可能な人員体制が必要であると判断しております。																							
f.前年度の地対協・大学からの意見に対する対応状況等 ※前年度、地対協から大学等へ派遣要請を行ったものの、結果的に配置が実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載				前年度派遣要請の有無 ※該当に○		前年度の地対協・大学からの意見																					
						上記意見に対する対応状況等																					
g.専門研修の可否 ※内科・外科はサブスペ領域まで研修可能な場合にのみ「可」に○				可 (基幹施設)		○		主な連携施設名		昭和医科大学江東豊洲病院、帝京大学医学部附属病院、筑波記念病院																	
				可 (連携施設)		○		基幹施設名		昭和医科大学江東豊洲病院、帝京大学医学部附属病院、筑波記念病院																	
				可 (関連施設)		○		基幹施設名		帝京大学医学部附属病院																	
				不可				今後の予定		プログラムを作成中				備考													
										指導医を確保・養成中																	
								プログラムの作成予定なし																			
h.取得可能な資格				循環器専門医、不整脈専門医																							
i.派遣医師の具体的な業務				・ICD (植込み型除細動器) およびCRT (心臓再同期療法) 等、デバイス治療の実施および管理 ・ハイブリッド手術室を活用したカテーテルインターベンション (例: PCI、TAVIなど) ・Watchmanデバイス (左心耳閉鎖術) の導入と運用に關わる診療・技術指導 ・急性心不全、心筋梗塞、重症不整脈などの救急疾患への対応 ・心臓リハビリテーションの評価とフォローアップ ・地域医療機関との連携 (症例カンファレンス・紹介元対応など) ・若手医師・研修医への循環器専門教育と指導																							
j.医師派遣による効果				本要望に基づき必要な医師が派遣されれば、以下のような効果が期待されます。 ・地域内での循環器疾患の即時対応が可能となり、域外への搬送を大幅に減少させることで「救える命を確実に救う」体制が実現されます。 ・ICD、CRTに加え、今後導入予定のWatchmanや急性大動脈解離への外科的治療など、対応可能な疾患の幅が拡がることにより、地域の高度医療ニーズに応えることができます。 ・循環器診療におけるサブスペシャリティー育成や、心臓血管外科の教育拠点としての体制強化が可能となり、地域全体の医療水準向上にも寄与します。																							
				R2		R3		R4		R5		R6		派遣後の見込		左の根拠											
①外来患者数				調査中		調査中		48323		45840		43982		47000		当院の外来患者数は令和4年以降、医師不足等により減少傾向が続いています。しかし、医師派遣により循環器内科・心臓血管外科の専門診療体制が整備されることで、専門外来の新設・紹介患者の増加・救急からのフォローアップ通院など、患者流入の要素が顕在化し、令和7年度には47,000人、令和8年度には50,000人程度まで回復・増加すると見込まれます。 特に、地域住民が専門医療を地元で受けられる環境整備により、外来患者の域外流出を抑え、安定した通院基盤を築くことが可能となります。											
うち要望診療科関係				調査中		調査中		調査中		調査中		調査中		調査中													
②入院患者数				調査中		調査中		4853		5486		6114		6800		当院の入院ベッド数は23床であり、医師派遣により診療体制が強化されることで、ベッド回転率の向上 (平均在院日数の短縮) および救急搬送症例の受け入れ拡大が進み、令和7年度には年間入院患者数が6,800人、令和8年度には7,200人程度に達すると見込んでおります。 特に、カテーテル検査・デバイス治療・緊急循環器症例などの短期入院症例が増加することで、限られた病床を有効活用しながら地域ニーズに応えることが可能となります。											
うち要望診療科関係				調査中		調査中		調査中		調査中		調査中		調査中													
③救急搬送件数				調査中		調査中		170		216		227		300		医師派遣により、当院は循環器系救急への即応体制を整備することが可能となります。これにより、令和7年度には救急車の受け入れ件数は500件程度、令和8年度には350件程度までの増加が見込まれます。 これは、心筋梗塞や心不全、大動脈疾患など、従来域外搬送されていた症例を院内で収容可能となること、またハイブリッド手術室の稼働と救急隊との連携強化によって、地域内搬送の優先病院としての位置づけが確立されることに起因します。											
うち要望診療科関係				調査中		調査中		調査中		調査中		調査中		調査中													
④救急お断り件数				調査中		調査中		調査中		100		97		50		医師派遣により、当院の救急対応体制は大幅に強化され、令和7年度には謝絶件数が半減 (約50件) し、令和8年度には20件程度までの削減が見込まれます。これは、従来謝絶の主因となっていた循環器疾患 (急性心不全、心筋梗塞、大動脈解離等) への24時間緊急対応が可能となること、および手術・処置を担う医師体制が整備されることによるものです。 ハイブリッド手術室の本格稼働と合わせ、地域の救急搬送受け入れ機能を回復・強化し、域外搬送を最小限に抑えることが期待されます。											
うち要望診療科関係				調査中		調査中		調査中		調査中		調査中		調査中													
⑤手術件数				調査中		調査中		782		784		896		1050		医師派遣によって、現在稼働が限定されているハイブリッド手術室の有効活用が可能となり、急性循環器疾患を含む救急症例や高度専門治療の受け入れが飛躍的に拡大します。 加えて、地域に流出していた症例の域内収容や新規治療の導入によって、令和7年度以降、年間手術件数は1,050件以上と見込まれ、以降も安定的に増加傾向が続くと予想されます。											
うち要望診療科関係				調査中		調査中		580		616		712		850													
⑥医師1人あたり時間外労働時間				0		0		0		0		0		0													
うち要望診療科関係				0		0		0		0		0		0													
⑦ ()																											
⑧その他、診療体制等				(例) ・○〇医療圏には△△疾患について休日夜間に対応している医療機関はないが、現在の3名体制に1名加わった4名体制となることで、2名×2チームを構築でき、24時間の診療が可能となる。 ・当院に1名増員されることにより、★★疾患について複数病院での輪番体制を構築することが可能となる。 ・△△疾患については現在1名加わることにより、○○など、より高度で低侵襲の治療が可能となる。																							
k.自院での医師確保の取組状況 ※該当に○				①HPやハローワークへの求人広告掲出				○		経過・ 現状等																	
				②派遣元大学医局への派遣依頼				○				定期的に採用面接を行っているが、採用となるケースがない状況である。															
				③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ				○																			
				④その他																							
l.看護師等、医師以外の医療従事者の充足状況、増員計画				不足 採用活動を行い、増員計画を行っている状況																							
m.手術室、ICU、CT・MRI等のハード設備等の診療環境の現状、今後の整備計画				HCUの施設基準の届出を検討 その後、ICUへの移行も視野に入れている																							
n.他の診療科との連携体制				消化器・眼科・呼吸器・後方支援等、近隣の医療機関との密な連携体制を構築している。																							
o.宿日直許可の取得状況 ※該当に○				取得済		○		取得日		2024年																	
				取得予定				取得予定日及び進捗状況																			
				取得予定なし				理由等																			
p.特定労務管理対象機関の指定予定 ※該当に○				なし (A水準)				○		申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付 等を記載 [A水準以外]		【共通】医師の労働時間短縮計画作成				【共通】評価センターの評価受審				[C-1の場合] 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 [C-2の場合] 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査							
				特定地域医療提供機関 (B水準)																							
				連携型特定地域医療提供機関 (連携B水準)								作成済		○		作成日		2025年4月		申請済				申請日			
				技能向上集中研修機関 (C-1水準)								作成中				完成予定 時期				申請 準備中				申請予定 時期			
q.生活環境 ※該当に○				宿舍の有無		専用宿舍 (敷地内)				宿舍の月額、 单身／世帯用の別、 入居可能室数 等						その他の 生活環境 支援											
						専用宿舍 (敷地外)																					
						借上宿舍																					
						住宅手当		○																			
						その他																					
						なし																					
r.子育て支援 ※該当に○				院内保育所		あり				病児保育体制等 ※該当に○		院内保育所対応				その他の 子育て支援											
						系列保育園						ベビーシッター等利用料の補助															
						その他						その他		○													
						なし		○				なし															
s.その他の福利厚生				通勤手当・昼食無料																							
t.派遣医師の待遇 (常勤)				役職		資格等		年収		就業時間		当直		オンコール		勤務日数		休日		備考							
				(例) 消化器内科部長		消化器内視鏡指導医		1,500万円 (手当含む)		8:30～17:00		有 2回/月		有 2回/週		週5日		日曜/祝日		赴任手当、住居手当、学会参加費 等							
u.派遣医師の待遇 (非常勤)				勤務曜日		勤務形態		勤務時間		勤務内容				給与		交通費		備考									
				(例) 月、水、金		日勤 (終日)		9:00～17:00		外来、病棟管理				100,000円/回		別途支給		週2～3日の勤務希望、分割 (AM・PM) 勤務可									
v.自由記載																											

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票 (個票②)【派遣要望内容】

色付きのセルに入力してください。

a.要望医療機関名				鹿嶋ハートクリニック			担当者		所属 氏名		事業推進課 高宮 椰弘		連絡先		電話 Mail								
b.派遣を求める診療科				心臓血管外科		R7.4.1時点の医師数 (人) ※非常勤は、常勤換算の人数とすること		常勤	3	自院での採用 (人) 大学等からの派遣 (人)		3											
								非常勤	0	派遣元の内訳		派遣元の内訳											
c.派遣要望人数 ※非常勤は、常勤換算の人数とすること				常勤	1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○		専攻医クラス	○	派遣医師に求める 資格、技術等													
				非常勤	0			専門医クラス	○										指導医クラス	○			
d.要望の主な目的 ※該当に○				減員補充		具体的な要望理由、 派遣の必要性		現在、全国的にいわゆる「心不全バンデミック」とも言われる状況が進行しており、鹿行地域においても循環器疾患の増加に対する対応が地域医療体制の大きな課題となっています。とりわけ、当該地域では循環器疾患の重症患者に対応できる医療資源が限られており、域外への搬送が常態化しています。 当院は2024年11月に病院機能を拡充し、ハイブリッド手術室を2室体制としましたが、医師体制が整わず救急手術を十分に受け入れることができない状況が続いています。このため、緊急性の高い疾患 (例:急性大動脈解離等) に対して迅速な治療が行えず、患者の搬送中に救命の機会を逸する事例も発生しています。 こうした背景を踏まえ、地域における循環器疾患の拠点病院として機能を強化し、患者を域内で確実に受け入れる体制を構築することを目的として、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科の医師派遣を要望いたします。															
				体制強化	○																		
				拠点形成																			
				その他																			
e.要望人数の根拠				以下のとおり、当院での対応可能症例の拡大および24時間救急対応体制の確立には、常勤医師の確保が必要不可欠と考えています。 ・心臓血管外科医:常勤1名 (急性大動脈解離などの外科的緊急対応のため) 現状、緊急性の高い手術や高度な循環器治療を担う常勤医が不足しており、複数の診療科において対応可能な人員体制が必要であると判断しております。																			
f.前年度の地対協・大学からの意見に対する対応状況等 ※前年度、地対協から大学等へ派遣要請を行ったものの、結果的に配置が実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載				前年度派遣要請の有無 ※該当に○	前年度の地対協・大学からの意見																		
					上記意見に対する対応状況等																		
g.専門研修の可否 ※内科・外科はサブスペ領域まで研修可能な場合にのみ「可」に○				可 (基幹施設)	○		主な連携施設名		昭和医科大学江東豊洲病院、帝京大学医学部附属病院、筑波記念病院														
				可 (連携施設)	○		基幹施設名		昭和医科大学江東豊洲病院、帝京大学医学部附属病院、筑波記念病院														
				可 (関連施設)	○		基幹施設名		帝京大学医学部附属病院														
				不可			今後の予定		プログラムを作成中				備考										
									指導医を確保・養成中														
								プログラムの作成予定なし															
h.取得可能な資格				浅大腿動脈ステントグラフト研修、腹部ステントグラフト研修、胸部ステントグラフト研修、下肢静脈瘤に対する血管内治療																			
i.派遣医師の具体的な業務				・急性大動脈解離、大動脈瘤、弁膜症、冠動脈バイパス術などの開心術の執刀および術前後管理 ・ハイブリッド手術室を活用した低侵襲治療 (EVAR、TEVAR等) の導入 ・心臓・大血管疾患の外科的治療計画立案および他診療科との協働診療 ・地域における重症循環器疾患への24時間緊急対応体制の構築 ・医学生・研修医・専攻医への心臓血管外科教育・実習対応 ・教育施設としての認定申請・運用支援 (学会申請書類などの整備)																			
j.医師派遣による効果				本要望に基づき必要な医師が派遣されれば、以下のような効果が期待されます。 ・地域内での循環器疾患の即時対応が可能となり、域外への搬送を大幅に減少させることで「救える命を確実に救う」体制が実現されます。 ・ICD、CRTIに加え、今後導入予定のWatchmanや急性大動脈解離への外科的治療など、対応可能な疾患の幅が拡がることにより、地域の高度医療ニーズに応えることができます。 ・循環器診療におけるサブスペシャリティー育成や、心臓血管外科の教育拠点としての体制強化が可能となり、地域全体の医療水準向上にも寄与します。																			
				R2	R3	R4	R5	R6	派遣後の見込	左の根拠													
①外来患者数				調査中	調査中	48323	45840	43982	47000	当院の外来患者数は令和4年以降、医師不足等により減少傾向が続いています。しかし、医師派遣により循環器内科・心臓血管外科の専門診療体制が整備されることで、専門外来の新設・紹介患者の増加・救急からのフォローアップ通院など、患者流入の要素が顕在化し、令和7年度には47,000人、令和8年度には50,000人程度まで回復・増加すると見込まれます。 特に、地域住民が専門医療を地元で受けられる環境整備により、外来患者の域外流出を抑え、安定した通院基盤を築くことが可能となります。													
うち要望診療科関係				調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中														
②入院患者数				調査中	調査中	4853	5486	6114	6800	当院の入院ベッド数は23床であり、医師派遣により診療体制が強化されることで、ベッド回転率の向上 (平均在院日数の短縮) および救急搬送症例の受け入れ拡大が進み、令和7年度には年間入院患者数が6,800人、令和8年度には7,200人程度に達すると見込んでおります。 特に、カテーテル検査・デバイス治療・緊急循環器症例などの短期入院症例が増加することで、限られた病床を有効活用しながら地域ニーズに応えることが可能となります。													
うち要望診療科関係				調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中														
③救急搬送件数				調査中	調査中	170	216	227	300	医師派遣により、当院は循環器系救急への即応体制を整備することが可能となります。これにより、令和7年度には救急車の受け入れ件数は500件程度、令和8年度には350件程度までの増加が見込まれます。 これは、心筋梗塞や心不全、大動脈疾患など、従来域外搬送されていた症例を院内で収容可能となること、またハイブリッド手術室の稼働と救急隊との連携強化によって、地域内搬送の優先病院としての位置づけが確立されることに起因します。													
うち要望診療科関係				調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中														
④救急お断り件数				調査中	調査中	調査中	100	97	50	医師派遣により、当院の救急対応体制は大幅に強化され、令和7年度には謝絶件数が半減 (約50件) し、令和8年度には20件程度までの削減が見込まれます。これは、従来謝絶の主因となっていた循環器疾患 (急性心不全、心筋梗塞、大動脈解離等) への24時間緊急対応が可能となること、および手術・処置を担う医師体制が整備されることによるものです。 ハイブリッド手術室の本格稼働と合わせ、地域の救急搬送受け入れ機能を回復・強化し、域外搬送を最小限に抑えることが期待されます。													
うち要望診療科関係				調査中	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中														
⑤手術件数				調査中	調査中	782	784	896	1050	医師派遣によって、現在稼働が限定されているハイブリッド手術室の有効活用が可能となり、急性循環器疾患を含む救急症例や高度専門治療の受け入れが飛躍的に拡大します。 加えて、地域に流出していた症例の域内収容や新規治療の導入によって、令和7年度以降、年間手術件数は1,050件以上と見込まれ、以降も安定的に増加傾向が続くと予想されます。													
うち要望診療科関係				調査中	調査中	180	142	151	190														
⑥医師1人あたり時間外労働時間				0	0	0	0	0	0														
うち要望診療科関係				0	0	0	0	0	0														
⑦ ()																							
⑧その他、診療体制等																							
k.自院での医師確保の取組状況 ※該当に○				①HPやハローワークへの求人広告掲出			○	経過・ 現状等															
				②派遣元大学医局への派遣依頼			○		定期的に採用面接を行っているが、採用となるケースがない状況である。														
				③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ			○																
				④その他																			
l.看護師等、医師以外の医療従事者の充足状況、増員計画				不足 採用活動を行い、増員計画を行っている状況																			
m.手術室、ICU、CT・MRI等のハード設備等の診療環境の現状、今後の整備計画				HCUの施設基準の届出を検討 その後、ICUへの移行も視野に入れている																			
n.他の診療科との連携体制				消化器・眼科・呼吸器・後方支援等、近隣の医療機関との密な連携体制を構築している。																			
o.宿日直許可の取得状況 ※該当に○				取得済	○	取得日		2024年															
				取得予定		取得予定日及び進捗状況																	
				取得予定なし		理由等																	
p.特定労務管理対象機関の指定予定 ※該当に○				なし (A水準)		○		申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付 等を記載 [A水準以外]	【共通】医師の労働時間短縮計画作成				【共通】評価センターの評価受審				[C-1の場合] 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 [C-2の場合] 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査						
				特定地域医療提供機関 (B水準)					作成済	○	作成日	2025年4月		申請済		申請日			申請済		申請日		
				連携型特定地域医療提供機関 (連携B水準)					作成中		完成予定 時期			申請 準備中		申請予定 時期			申請予定		申請予定 時期		
				技能向上集中研修機関 (C-1水準)																			
				特定高度技能研修機関 (C-2水準)																			
q.生活環境 ※該当に○				宿舎の有無		専用宿舎 (敷地内)		宿舎の月額、 单身／世帯用の別、 入居可能室数 等					その他の 生活環境 支援										
						専用宿舎 (敷地外)																	
						借上宿舎																	
						住宅手当	○																
						その他																	
						なし																	
r.子育て支援 ※該当に○				院内保育所		あり		病児保育体制等 ※該当に○	院内保育所対応				その他の 子育て支援										
						系列保育園			ベビーシッター等利用料の補助		○												
						その他			その他		○												
						なし	○		なし														
s.その他の福利厚生				通勤手当・昼食無料																			
t.派遣医師の待遇 (常勤)				役職	資格等	年収	就業時間	当直	オンコール	勤務日数	休日	備考											
				(例) 消化器内科部長	消化器内視鏡指導医	1,500万円 (手当含む)	8:30～17:00	有 2回/月	有 2回/週	週5日	日曜/祝日	赴任手当、住居手当、学会参加費 等											
u.派遣医師の待遇 (非常勤)				勤務曜日	勤務形態	勤務時間	勤務内容				給与	交通費	備考										
				(例) 月、水、金	日勤 (終日)	9:00～17:00	外来、病棟管理				100,000円/回	別途支給	週2～3日の勤務希望、分割 (AM・PM) 勤務可										
v.自由記載																							

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

令和7年6月16日
潮来保健所

令和7年度 第2回鹿行保健医療圏における救急医療ワーキング会議 開催内容(案)

令和6年度第1回保健医療福祉協議会及び第4回鹿行地域医療構想調整会議において報告いたしました、県南東医療提供圏以外の連携も含めた当医療圏の救急医療ワーキング会議につきましては開催に向け調整しております。

開催内容については、下記のとおりを考えておりますので、ご報告いたします。

記

1 目的

鹿行保健医療圏における水戸医療圏及び千葉県を含む圏域内外の救急医療の現状と課題について、関係機関で情報を共有し課題解決に向けた協議を行う。

2 参加者

別紙参加者(案)のとおり 39機関

※2023年の年間救急搬送件数が90件以上の実績がある医療機関

3 協議内容(案)

- ・鹿行医療圏の医療提供状況
- ・参加機関からのご意見等によるディスカッション

令和7年度第2回鹿行保健医療圏における救急医療ワーキング会議 出席者名簿(案)

【R7開催 出席メンバー】

○鹿行保健医療圏内

区分	団体名・役職名
1	一般社団法人 鹿島医師会
2	一般社団法人 水郷医師会
3	一般社団法人 水戸医師会
4	一般社団法人 県央医師会
5	一般社団法人 土浦医師会
6	小山記念病院
7	白十字総合病院
8	神栖済生会病院
9	高須病院
10	鉾田病院
11	鹿嶋ハートクリニック
12	鹿行広域事務組合消防本部
13	鹿島地方事務組合消防本部
14	鹿嶋市
15	潮来市
16	神栖市
17	行方市
18	鉾田市
19	保健所 潮来保健所
20	県 医療政策課

○鹿行保健医療圏外

区分	団体名・役職名
21	総合病院土浦協同病院
22	水戸医療センター
23	水戸赤十字病院
24	水戸協同病院
25	医療機関 東京医科大学茨城医療センター
26	茨城県立こども病院
27	大洗海岸病院
28	石岡循環器科脳神経外科病院
29	山王台病院
30	保健所 中央保健所
31	水戸保健所

○千葉県

32	旭中央病院
33	島田総合病院
34	医療機関 千葉県立佐原病院
35	成田赤十字病院
36	日本医科大学千葉北総病院
37	保健所 海匝保健所
38	印旛保健所
39	香取保健所